

八千代市第5次総合計画
前期実施計画〔令和6年度版〕
令和6年度事業 効果検証結果報告書(案)

令和7年 月

八千代市

1 八千代市第5次総合計画前期実施計画事業の効果検証

第5次総合計画の進行管理に基づき、総合計画を着実に推進するため、前期実施計画に掲げた各事業について、指標の達成状況、執行計画と実績の比較などから効果を分析し、今後の取組の改善を図ります。

2 令和6年度対象事業

八千代市第5次総合計画前期実施計画〔令和6年度版〕の計画事業の内、令和6年度に事業が予定されていた89事業について効果検証を行いました。

3 八千代市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連

第2期総合戦略は、総合計画と総合戦略の目指す方向性が共通していることから、第5次総合計画内に包含するものとして一体的に策定しました。

総合戦略における具体的な取組と重要業績評価指標(KPI)については、実施計画に位置づけて事業を推進していくこととしており、実施計画に掲げた計画事業のうち一部の事業は、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的な取組にもなっています。

このことから、実施計画事業の効果検証は、第2期総合戦略としての効果検証も兼ねるものとしています(「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と第5次総合計画前期基本計画・前期実施計画〔令和6年度版〕との関連」のとおり)。

4 令和6年度事業一覧

【事業数 89事業】

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

施策の大綱	施策名	No.	事業名	完了	担当課
第1節 子ども・子育て	1 教育・保育環境（幼児教育）	1	民間保育園等施設整備助成事業		子育て支援課
		2	送迎保育ステーション整備事業		子育て支援課
		3	幼稚園教諭処遇改善事業		子ども保育課
	2 子育て環境	4	こども計画策定事業	○	子育て支援課
		5	産後ケア事業		母子保健課
		6	骨髄移植等を原因とする予防接種再接種費助成事業		母子保健課
		7	学童保育所整備事業		子育て支援課
		8	放課後子ども教室推進事業		子育て支援課
第2節 地域福祉	1 地域共生	9	重層的支援体制整備事業		福祉総合相談課
	2 障害者支援	10	障害者等への地域における相談支援体制の充実強化事業		障害者支援課
		11	障害者グループホーム整備費補助事業		障害者支援課
	3 高齢者支援	12	高齢者等外出支援事業		長寿支援課
		13	高齢者運転免許証自主返納支援事業		長寿支援課
第3節 社会保険	2 介護保険	14	介護保険施設整備事業		長寿支援課
		15	地域ケア会議推進事業		福祉総合相談課
第4節 健康	2 医療	16	公的病院等救急医療事業補助事業		健康福祉課

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

施策の大綱	施策名	No.	事業名	完了	担当課
第1節 教育	1 義務教育	1	西八千代地区生徒増対策事業		学務課
		2	みどりが丘小学校分離新設校建設事業		教育総務課
		3	小・中学校施設整備事業		教育総務課
		4	外国語指導助手派遣事業		指導課
		5	コンピュータ教育事業		教育センター
		6	部活動地域移行事業		保健体育課
第4節 スポーツ	1 スポーツ・レクリエーション	7	市民体育館改修事業		文化・スポーツ課

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

施策の大綱	施策名	No.	事業名	完了	担当課
第2節 暮らしの安全	1 防災・減災	1	災害用物資備蓄事業		危機管理課
		2	地域排水整備事業		土木建設課
		3	勝田川改修事業		土木建設課
		4	準用河川高野川改修事業		土木建設課
		5	急傾斜地崩壊対策事業（市）		土木建設課
		6	急傾斜地崩壊対策事業（県）		土木建設課
	2 消防	7	予防業務事業		予防課
		8	消防車両等整備事業		警防課
	3 防犯	9	防犯灯設置事業		危機管理課
		10	防犯カメラ設置費補助事業		危機管理課
	4 交通安全	11	交通安全施設整備事業		土木維持課
		12	通学路整備事業		土木維持課
		13	自転車ネットワーク整備事業		土木維持課
第3節 上下水道	1 水道	14	八千代台浄水場施設改良事業	○	上水道課
		15	災害時応急給水用機材整備事業	○	上水道課
		16	管路耐震化事業		上水道課
	2 下水道	17	下水道施設改良事業		下水道課
		18	汚水管渠整備事業		下水道課
		19	雨水管渠整備事業		下水道課

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

施策の大綱	施策名	No.	事業名	完了	担当課
第1節 市街地・住環境の整備	1 市街地の整備・活性化	1	大和田駅北側地区まちづくり事業		都市計画課 まちづくり推進室
		2	西八千代南部地区まちづくり事業		都市計画課 まちづくり推進室
		3	八千代台駅周辺活性化推進事業		都市計画課 まちづくり推進室
	2 住宅	4	危険コンクリートブロック塀等撤去費補助事業		建築指導課
		5	マンション耐震診断費補助事業		建築指導課
		6	木造住宅耐震診断費等補助事業		建築指導課
		7	空家等対策推進事業		建築指導課
		8	管理不全空家等解消事業		建築指導課
		9	マンション管理アドバイザー派遣事業		建築指導課
	3 公園・緑地	10	西八千代地区近隣公園建設事業		公園緑地課
		11	県立八千代広域公園整備の促進		公園緑地課
		12	勝田市民の森用地取得事業		公園緑地課
		13	バラ苗配布事業		公園緑地課
		14	ゆらゆら橋補修事業	○	公園緑地課
第2節 総合交通・道路環境の整備	1 総合交通	15	東葉高速鉄道支援事業		企画経営課
		16	勝田台駅南口エレベーター設置事業	○	都市計画課
	2 道路環境	17	都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業（上高野工区）		土木建設課
		18	都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業		土木建設課
		19	都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業（県事業）		土木建設課
		20	道路改良事業		土木建設課
		21	道路補修事業		土木維持課
		22	橋梁補修事業		土木維持課
第3節 環境との共生・保全	1 生活環境	23	高度処理型浄化槽設置整備事業		環境政策課
		24	地域猫不妊去勢等手術費用助成事業		環境政策課
	2 自然環境	25	住宅用設備等脱炭素化促進事業		環境政策課 ゼロカーボンシティ推進室
第4節 循環型社会	1 一般廃棄物	26	浸出水処理施設基幹的設備改良事業		清掃センター
		27	粗大ごみ処理施設基幹的設備改良事業		清掃センター

第5章 産業が元気なまちづくり

施策の大綱	施策名	No.	事業名	完了	担当課
第1節 農業	1 農業振興	1	防災道の駅やちよ整備事業		農政課
	2 農地保全	2	農業振興地域整備計画策定事業	○	農政課
		3	水田再基盤整備事業		農政課
第2節 商工業	1 商業	4	創業支援事業		商工観光課

計画の推進のために

施策の大綱	施策名	No.	事業名	完了	担当課
第1章 市民にわかりやすいまちづくりの推進	(2) 市民参画体制の充実	1	新たな市民参画制度創設事業	○	コミュニティ推進課
第2章 地域の視点に立ったまちづくりの推進	(1) コミュニティ活動の推進	2	地域コミュニティ推進講座開催事業		コミュニティ推進課
		3	地域担当職員制度事業	○	コミュニティ推進課
		4	旧八千代台東第二小学校跡地整備事業		企画経営課
第3章 多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信	(2) 多文化共生社会の推進	5	多言語防災・生活情報配信事業		シティプロモーション課
		6	地域間連携推進事業		商工観光課 観光推進室
	(4) シティプロモーション・観光の推進	7	観光資源活用・情報発信事業		商工観光課 観光推進室
		8	シティプロモーション事業		シティプロモーション課
第4章 持続可能な行政経営の確立	(1) 効率的な行政運営の確立	9	文書管理システム導入事業	○	総務課
		10	行政組織の見直し		総務課
		11	行政評価推進事業		企画経営課
	(3) 公共施設等の一体的なマネジメントの推進	12	庁舎建設事業		庁舎総合整備課
	(4) スマート自治体の推進	13	行政手続のオンライン化推進事業（51手続）		情報政策課
		14	施設使用料等キャッシュレス決済導入事業		情報政策課
		15	統合型GIS導入事業	○	情報政策課
		16	情報システム標準化事業		情報政策課

5 事業別効果検証結果票 【記載項目説明】

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2. 子育て環境

第1章-7 学童保育所整備事業

担当課： 子育て支援課

事業概要	令和6年度				計画額	前年度繰越額	14,515千円
	計画	工事				当初予算額	464,441千円
						9月	-53,570千円
						月	
	実績	工事				月	
月							
月							
学童保育事業において、待機児童解消のため、学童保育所等整備方針に沿って学童保育所の新設及び既存学童保育所の定員拡大を実施する。 小学校内にある学童保育所については、放課後子ども教室との一体型を実施することで、多様な活動の場・体験の場を提供する。					補充用等		
					予算現額	425,386千円	
					決算額	376,298千円	
年間計画	項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度	
	みどりが丘学童建設工事	契約	工事	→	完成		
	備品等購入・移転業務			契約	納品・移転		
	八千代台小プール解体工事	契約	解体工事	完成			
	八千代台学童建設工事			契約	工事	⇒	
年間実績	項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度	
	みどりが丘学童建設工事	契約	工事	→	完成		
	備品等購入・移転業務			契約	納品・移転		
	八千代台小プール解体工事	契約	解体工事	完成			
	八千代台学童建設工事			契約	工事	⇒	
	継続費・繰越明許費を設定している場合に「⇒」を掲載しています。						
	【みどりが丘学童保育所(南館)建設工事】 建築:契約日:令和6年6月28日 契約金額:200,200,000円 契約者:万葉建設㈱ 電気設備:契約日:令和6年6月28日 契約金額:22,041,600円 契約者:㈱小池電機 機械設備:契約日:令和6年6月28日 契約金額:1,000,000円 契約者:㈱小池電機 工事監理:契約日:令和6年6月28日 契約金額:1,000,000円 契約者:㈱小池電機	取組状況	着手				
	【八千代台小学校プール解体工事】 解体工事:契約日:令和6年5月20日 契約金額:63,401,800円 契約者:㈱中央企画	取組中(継続)	○				
		完了					
	指標名	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
学童保育所定員数	値 1,750人	1,795人	1,985人	2,230人	2,325人	2,265人	
	時点 令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日	令和7年4月1日	令和7年4月1日	
指標の達成状況	目標以上を達成						
効果検証	当該年度実績の効能と課題						
	課題に対する今後の取組						
緑が丘地区及び勝田台地区で計95名の定員拡大を図ったが、八千代台地区の小学校で多くの待機児童が発生した。八千代台地区については、学童保育所の整備を進め、待機児童の解消を図る。また、その他の地区については、関係部局と協議し、余裕教室等の活用などにより、待機児童対策を図る。							

【指標の達成状況】

次の5段階から選択しています。

- 目標以上を達成: 目標値に到達したもの、それ以上を達成した指標
- 概ね目標を達成: 目標値には至っていないものの目標値に概ね近い指標
- 目標達成に向け順調に推移: 目標値に向かって実績値が順調に推移している指標
- やや目標達成困難: 目標値の達成が目標時点までにやや困難な指標
- 目標達成困難: 目標値の達成が目標時点までに困難な指標

6 事業別 効果検証結果票

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

1. 教育・保育環境（幼児教育）

第1章-1 民間保育園等施設整備助成事業

担当課： 子育て支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	助成				当初予算額		86,001千円	
	実績	助成			補正	月			
						月			
	月								
	民間保育園等への施設整備に対する助成を行う。					流充用等			
予算現額						86,001千円			
決算額						66,251千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	小規模保育事業所新設		公募	整備候補決定	整備	完成			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	小規模保育事業所新設		公募	整備候補決定	整備	完成			
	当 年 度 実 績						取組 状 況	未着手	
	【小規模保育事業所新設】 事業者3者, 3施設 (RuRi村上保育園:定員19人, プチリック村上園:定員19人, サンライズキッズ保育園 勝田台園:定員19人)計57人増							取組中 (継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	新規整備施設数		値	0施設	0施設	7施設	4施設	3施設	14施設
			時点	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日	令和7年4月1日	令和7年4月1日
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	待機児童の解消に向けて, 小規模保育事業所の新規開設を行ったが, 昨年度と比較して待機児童数が増加した。					各年度の保育ニーズと待機児童の状況を勘案して, 必要な保育施設の整備等, 様々な手法を検討していく。			

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

1. 教育・保育環境（幼児教育）

第1章-2 送迎保育ステーション整備事業

担当課： 子育て支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	委託(整備)				当初予算額		46,000千円	
	実績	実施なし			補正	3月		-44,287千円	
						月			
						月			
	小規模保育事業所の新設に伴い、3歳児以上の受け皿を確保するため、送迎保育ステーションを整備する。					流充用等		-1,713千円	
予算現額						0千円			
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	送迎保育ステーション整備		公募	事業者決定	整備委託	完成			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	送迎保育ステーション整備		実施なし	実施なし	実施なし	実施なし			
	当 年 度 実 績						取組状況		
	子ども保育課による小規模保育事業所利用者に対するアンケート調査の結果、次年度の利用希望者が現在の施設定員数を下回ったことから、今年度は新規整備を見送った。							未着手	
								取組中(継続)	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	小規模保育事業所卒園児の受入可能数	値			0人	20人	20人	120人	
		時点			令和5年4月1日	令和6年4月1日	令和7年4月1日	令和7年4月1日	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	新規整備を見送り、事業目標として設定した受け入れ可能数を確保することが出来なかった。					子ども保育課と連携し、連携施設の拡大や利用者への周知など、ソフト面の充実を図りつつ、必要となる保育の受け皿の需要を勘案し、整備を行う。			

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

1. 教育・保育環境（幼児教育）

第1章-3 幼稚園教諭処遇改善事業

担当課： 子ども保育課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	補助金の交付				当初予算額	10,260千円		
	実績	補助金の交付			補正	月			
						月			
						月			
市内の民間幼稚園で勤務する常勤職員に給与改善を実施した施設に対し、一人当たり月額10,000円を上限として補助する。					流充用等				
					予算現額		10,260千円		
					決算額		9,280千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助金交付申請		申請受付			変更申請			
	交付		概算交付	概算交付	概算交付	変更交付			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助金交付申請		申請受付			変更申請			
	交付		概算交付	概算交付	概算交付	確定交付			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	対象施設:9施設，給与改善実人数:80人(3月末時点)，交付確定額:9,280,000円，支払済額:9,280,000円							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	常勤幼稚園教諭平均勤続年数	値	7.8年	8.3年	9.3年	8.9年	9.1年	9.0年	
		時点	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日	令和7年4月1日	令和7年4月1日	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	平均勤続年数は増加傾向にあり、定着に一定の効果があるものと考えられる。しかし、幼稚園の入園希望者の減少により、閉園や給与改善を受けた職員の減少等、施設の運営に影響を及ぼしている。					幼稚園利用者の拡大のため、幼稚園の情報の発信に努めるとともに、利用者のニーズに応じた預かり保育の充実について、事業者との協議を図る。			

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2. 子育て環境

第1章-4 こども計画策定事業

担当課： 子育て支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	策定				当初予算額		5,852千円	
	実績	策定			補正	月			
						月			
	こども大綱や県こども計画を勘案し、下記の計画と一体的に「(仮称)八千代市こども計画」を策定する。 ・子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画 ・次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画					月			
						流充用等		1,573千円	
予算現額						7,425千円			
					決算額		7,425千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	計画策定業務		骨子案作成	事業の検討・調整	計画素案の作成	計画案の決定			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	計画策定業務		骨子案作成	事業の検討・調整	計画素案の作成	計画案の決定			
	当 年 度 実 績						取組状況		
	契約者:株式会社ナレッジ・マネジメント・ケア研究所 契約日:令和6年4月17日 契約金額:4,125,000円 変更契約日:令和6年6月7日 変更契約金額:3,300,000円 変更後契約金額7,425,000円							未着手	
								取組中(継続)	
						完了	○		
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	計画の策定	値						計画の策定	計画の策定
		時点						令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	本計画策定により『「すべてのこどもが健やかに育つまち やちよ」をめざして』を基本理念として全庁的に取り組むことで、本市における「こどもの権利」の擁護や尊重を図る効果がある。					今期計画で掲げた事業目標や事業推進方針の進捗管理, 評価等を行っていく必要がある。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2. 子育て環境

第1章-5 産後ケア事業

担当課： 母子保健課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円				
	計画	実施				当初予算額		10,141千円				
	実績	実施			補正	3月		11,151千円				
						月						
						月						
産後の支援がなく心身の不調や育児不安等があり、支援を必要とする出産後1年以内の母親とその子を対象に、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後の生活を支援する。					流充用等							
					予算現額		21,292千円					
					決算額		19,695千円					
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度	
	産後ケア事業		実施		実施		実施		実施			
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度	
	産後ケア事業		実施		実施		実施		実施			
	当 年 度 実 績										取組状況	
	宿泊型		110人	延583日利用								未着手
デイケア型		63人	延191日利用							取組中 (継続)		○
訪問型		22人	延64日利用							完了		
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標			
	利用により安心して育児ができたと思う人の割合		値	100%	100%	98.2%	100%	96.6%	100%			
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末			
	指標の達成状況		概ね目標を達成									
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組						
	利用率も向上し、「休息できた。」「不安が解消した。」等の声が多数寄せられており、目標は達成していると考え。一方、利用施設や月齢に限りがあり、希望通りに利用できない実態もある。今後、一層の利用率向上を目指すには現状の契約施設だけでは目標達成が難しいと考える。					産後ケア施設の更なる整備に向けた調査・検討。						

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2. 子育て環境

第1章-6 骨髄移植等を原因とする予防接種再接種費助成事業

担当課： 母子保健課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	実施				当初予算額	281千円		
	実績	実施			補正		月		
							月		
							月		
	骨髄移植や化学療法等の治療により、予防接種の再接種が必要となった場合に、その費用を助成し保護者の経済的な負担を軽減する。					流充用等			
予算現額						281千円			
決算額						39千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	予防接種再接種費用助成		実施	実施	実施	実施			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	予防接種再接種費用助成		申請実績なし	申請実績なし	申請1人	申請1人			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	令和4年度申請者1名につき、1種類の費用助成を実施したが、再接種は完了していない。また、令和6年度申請者1名についても、2種類の費用助成を実施したが、再接種は完了していない。							取組中（継続）	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	再接種完了人数		値		0人	1人	1人	0人	3人
			時点		令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		やや目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	再接種完了人数は、疾病の状況に応じて医師の判断で接種が進められるため、執行時期の予測が困難である。					アウトカム指標を再接種完了人数とすると、疾病状況により医師の判断で接種が進められることから指標とするには無理がある。そのため、令和7年度からは、接種を実施した延べ回数を新たな指標に設定したい。			

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2. 子育て環境

第1章-7 学童保育所整備事業

担当課： 子育て支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	14,515千円		
	計画	工事				当初予算額	464,441千円		
	実績	工事			補正	9月	-53,570千円		
						月			
						月			
	学童保育事業において、待機児童解消のため、学童保育所等整備方針に沿って学童保育所の新設及び既存学童保育所の定員拡大を実施する。 小学校内にある学童保育所については、放課後子ども教室との一体型を実施することで、多様な活動の場・体験の場を提供する。					流充用等			
予算現額						425,386千円			
決算額						376,298千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	みどりが丘学童建設工事		契約	工事	→	完成			
	備品等購入・移転業務				契約	納品・移転			
	八千代台小プール解体工事		契約	解体工事	完成				
	八千代台学童建設工事				契約	工事	⇒		
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	みどりが丘学童建設工事		契約	工事	→	完成			
	備品等購入・移転業務				契約	納品・移転			
	八千代台小プール解体工事		契約	解体工事	完成				
	八千代台学童建設工事				契約	工事	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況		
	【みどりが丘学童保育所(南館)建設工事】							未着手	
	建 築:契約日:令和6年6月28日 契約金額:200,200,000円 契約者:万葉建設㈱							取組中 (継続)	○
	電気設備:契約日:令和6年6月28日 契約金額: 33,941,600円 契約者:㈱小池電機								
	機械設備:契約日:令和6年6月28日 契約金額: 30,930,900円 契約者:㈱追分水道						完了		
工事監理:契約日:令和6年6月28日 契約金額: 4,169,000円 契約者:㈱フジプラン									
【八千代台小学校プール解体工事】									
解体工事:契約日:令和6年5月20日 契約金額: 63,401,800円 契約者:㈱中央企画									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	学童保育所定員数		値	1,750人	1,795人	1,985人	2,230人	2,325人	2,265人
			時点	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日	令和7年4月1日	令和7年4月1日
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	緑が丘地区及び勝田台地区で計95名の定員拡大を図ったが、八千代台地区の小学校で多くの待機児童が発生した。				八千代台地区については、学童保育所の整備を進め、待機児童の解消を図る。また、その他の地区については、引き続き関係部局と協議し、余裕教室等の活用など受け皿確保に努め、待機児童対策を図る。				

第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第1節 子ども・子育て

2. 子育て環境

第1章-8 放課後子ども教室推進事業

担当課： 子育て支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	実施				当初予算額	64,071千円		
	実績	実施			補正	9月	6,235千円		
						月			
						月			
放課後に小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の文化・スポーツ団体等の協力を得て、様々な体験活動や地域交流活動を実施する。学童保育所との一体型を実施することで、多様な活動の場・体験の場を提供する。					流充用等				
					予算現額		70,306千円		
					決算額		63,925千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	新規開設準備			予算協議	入札	業務委託準備			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	新規開設準備			予算協議	変更契約	開設準備			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	新規4校の開設(萱田小・高津小・大和田西小・村上東小) 管理運営を直営から外部委託へと変更							取組中(継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	放課後子ども教室登録児童数	値		333人	691人	801人	684人	974人	3,376人
		時点		令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
指標の達成状況		目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	令和6年度から管理運営を直営から外部委託へと変更し、安全管理員の人員を確保したことにより4校の新規開設を実施した。開催校は全13校となったが、未開設校での余裕教室等の確保が進まず全校開催には至らなかった。				未開設校での新規開設に向け、引き続き委託業者及び関係機関と協議・調整を行う。				

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

1. 地域共生

第1章-9 重層的支援体制整備事業

担当課： 福祉総合相談課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円			
	計画	移行準備				当初予算額	491千円			
	実績	移行準備			補正	月				
						月				
						月				
重層的支援体制整備事業において、庁内連携体制の構築を図るとともに、支援関係機関との連携や調整、直接支援等を行う多機関協働に取り組む。					流充用等					
					予算現額	491千円				
					決算額	21千円				
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	庁内・庁外調整		協議実施	協議実施	庁内・庁外周知	庁内・庁外周知				
	包括的相談支援事業等委託		契約準備	契約・事業引継	事業開始					
	多機関協働事業実施		実施準備	実施準備	事業開始					
	重層事業実施要綱策定				策定準備・協議	要綱策定				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	庁内・庁外調整		実施	実施	庁内・庁外周知	庁内・庁外周知				
	包括的相談支援事業等委託		契約不調	再契約準備	事業者選定・契約	事業開始準備	⇒			
	多機関協働事業実施		実施	実施	事業開始	庁内周知				
	重層事業実施要綱策定				実施	実施				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手		
	【庁内連携体制】 重層的支援体制整備事業推進協議会交付金活用検討部会の開催 2回 重層的支援体制整備事業推進協議会支援体制整備部会の開催 1回 【多機関協働事業】 新規相談受付件数9件 うち終結件数2件							取組中（継続）	○	
								完了		
								指標	指標名	
	多機関協働の実施機関の設置	値							設置	設置
時点							令和6年度末		令和6年度末	
指標の達成状況		目標以上を達成								
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組					
	多機関協働事業実施に伴い重層的支援会議及び支援会議を設置。多機関連携の体制が整ったが、庁内外関係機関への周知及び有用性を検証する必要がある。また、専門知識を持つ職員人材の育成が難しい。				福祉総合相談課が多機関協働事業として重層的支援会議や支援会議を開催することにより、多機関が介入し解決に至った事例を積み重ね、事業としての有用性を検証する。職員の人材育成を図りつつ、長期的には業務委託を含め、事業の方向性を見定める。					

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

2. 障害者支援

第1章-10 障害者等への地域における相談支援体制の充実強化事業

担当課: 障害者支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	委託業務検討				当初予算額	0千円		
	実績	委託業務検討			補正				
						月			
						月			
						月			
障害者等への相談支援体制を充実・強化するため、総合的・専門的な相談支援の実施、相談支援体制の強化及び関係機関等の連携の緊密化を通じた地域づくりの役割を担う基幹相談支援センターの拡充を検討する。					流充用等				
					予算現額		0千円		
					決算額		0千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	仕様書の作成		検討	素案完成					
	交付金の申請		検討	検討	申請(委託先未決定)				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	仕様書の作成		検討	素案完成					
	交付金の申請		検討中	検討中	申請済				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	センター委託業務の仕様書素案が完成するとともに、当該委託事業に係る令和7年度当初予算が成立する。 翌年度の事業開始に向けて各種準備を進めた。							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	基幹相談センター委託業務の仕様書作成	値	検討	検討	検討	検討	完成	完成	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	仕様書素案の完成とともに令和7年度当初予算に関係経費が計上されるなど当該委託事業の基本事項を取りまとめるに至ったことから、業務開始に向けて諸条件を整理していく必要がある。令和7年度に委託金額が正式に決定した際には交付金の変更申請が必要となる。				令和7年度10月1日からの民間委託による業務開始に向けて、事業者選定方式や選定スケジュール等を精査しつつ計画的に準備を進める。また委託金額が確定した折、交付金の変更申請を行う。				

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

2. 障害者支援

第1章-11 障害者グループホーム整備費補助事業

担当課： 障害者支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	助成				当初予算額	0千円		
	実績	助成			補正	月			
						月			
						月			
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する共同生活援助を実施する社会福祉法人等がグループホームを市内に整備するために要する費用の一部を助成する。					流充用等				
					予算現額		0千円		
					決算額		0千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	相談対応等		相談対応等	相談対応等	相談対応等	相談対応等			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	相談対応等		相談対応等	相談対応等	相談対応等	相談対応等			
	当 年 度 実 績						取組状況		
	グループホーム建設等の相談に応じた。							未着手	
取組中(継続)								○	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	助成事業所数		値	1事業所	1事業所	1事業所	1事業所	1事業所	3事業所
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	グループホームの数自体は増えているが、助成対象となる非営利法人ではなく、株式会社等の営利法人による整備が進んでいる。					補助事業の内容等について検討する。			

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

3. 高齢者支援

第1章-12 高齢者等外出支援事業

担当課： 長寿支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	助成				当初予算額		26,067千円	
	実績	助成			補正	月			
						月			
						月			
	要介護1・2・3・4・5、要支援1・2の認定者で住民税非課税の方を対象に、タクシー運賃の一部を助成する。					流充用等			
予算現額						26,067千円			
決算額						12,067千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	タクシー代の一部助成		助成	助成	助成	助成			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	タクシー代の一部助成		助成	助成	助成	助成			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	○令和6年度末申請状況 申請者数:1,840人 ○令和6年度末のタクシー券利用枚数 24,136枚 【助成金額】12,067,300円							取組中 (継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	タクシー券利用人数	値	336人/年	364人/年	366人/年	390人/年	1,437人/年	2,640人/年	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	令和6年度に制度の大幅な改正を行い対象者を拡大し、利用者数は大きく増加したが、目標は達成しなかった。高齢者福祉サービスと繋がりが無い高齢者に対しても制度の周知を行っていく必要がある。					長寿会や民生委員、ケアマネジャー等へ引き続き制度の説明を行い、周知するとともに、高齢者福祉サービスと繋がりが無い高齢者に対しても制度の周知と利用促進を図っていく。			

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第2節 地域福祉

3. 高齢者支援

第1章-13 高齢者運転免許証自主返納支援事業

担当課： 長寿支援課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	実施				当初予算額		6,720千円	
	実績	実施			補正	月			
						月			
						月			
運転経歴証明書交付を受けている高齢者に対し、タクシー利用券を交付する。					流充用等				
					予算現額		6,720千円		
					決算額		3,197千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	タクシー券の交付		交付	交付	交付	交付			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	タクシー券の交付		交付	交付	交付	交付			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	○令和6年度末申請624人(R6年4月～R7年3月申請分) ○令和6年度末のタクシー券利用枚数 6,394枚 【助成金額】3,197,000円							取組中(継続)	○
								完了	
指標								指標名	
	タクシー券交付人数	値	1,956人	2,514人	3,109人	3,582人	4,209人	2,500人	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	令和6年度には1回あたりの利用可能枚数を増やし、また制度周知のポスターを作成するなど、制度の利用を促進するための対策を行った。申請者数は順調に増加しているが、車の割合を減らすには至っていないので、公共交通施策とも連携して対策を行っていく必要がある。				引き続き、他のタクシー券事業と併せて制度の周知を行うとともに、公共交通部門等と連携を図り、利用状況等を踏まえた制度の見直しについても検討していく。				

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第3節 社会保険

2. 介護保険

第1章-14 介護保険施設整備事業

担当課： 長寿支援課

事業概要	計画	令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
		選定委員会 助成				当初予算額	97,469千円		
	実績	選定委員会			補正	3月	-73,025千円		
						月			
						月			
	介護保険事業計画に位置付けた介護保険施設等に係る整備予定事業者の公募・選考を実施し、選定された事業者に対し、施設の整備費用、備品購入費等の開設準備費用について助成する。					流充用等			
予算現額						24,444千円			
決算額						14千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	介護施設等整備事業者募集		募集(特養)	募集(その他施設)					
	選定委員会の開催			開催(特養)	開催(その他施設)				
	介護施設等整備事業補助金		県協議	県内示	補助決定	補助額確定			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	介護施設等整備事業者募集		募集(特養)	未実施					
	選定委員会の開催			開催(特養)	未実施				
	介護施設等整備事業補助金		県協議	内示遅延による未実施	未実施	県内示	⇒		
	当 年 度 実 績						取組 状況	未着手	
	令和6年8月に選定委員会を開催し、特別養護老人ホームの整備予定事業者を決定した。 認知症高齢者グループホーム等防災改修等整備事業補助金については、国との協議の結果、採択されなかった。							取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	介護老人福祉施設等整備施設数	値	0施設	0施設	1施設	1施設	0施設	3施設	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成に向け順調に推移						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	第9期介護保険事業計画(令和6－8年度)に基づく、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の整備予定事業者を選定した。他の施設については、近隣市の公募状況等を調査した。					計画に基づき整備予定の施設について、順次公募を実施する。			

第3節 社会保険

第1章-15 地域ケア会議推進事業

担当課： 福祉総合相談課

– 20 –

第1章 とともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり

第4節 健康

2. 医療

第1章-16 公的病院等救急医療事業補助事業

担当課： 健康福祉課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	助成				当初予算額	80,720千円		
	実績	助成			補正	9月	7,265千円		
						月			
						月			
	市内の公的病院等(東京女子医科大学附属八千代医療センター)が提供する救急医療事業に要する経費の一部を助成し、救急医療体制を確保する。					流充用等		-17,600千円	
予算現額						70,385千円			
決算額						70,289千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助金申請		補助金申請	変更申請					
	補助決定		補助決定	変更決定					
	補助額確定・交付					補助額確定・交付			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助金申請		補助金申請, 変更申請	変更申請	変更申請				
	補助決定		補助決定, 変更決定	変更決定	変更決定				
	補助額確定・交付					補助額確定・交付			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	○
	日曜夜間の救急事業実施期間を変更(当初のR6.4.1～R7.3.31をR6.4.1～R6.5.31に短縮)したいとする申請があり、短縮分の減額を決定した(R6.5.1)。 医師会への夜間救急急病待機業務委託の単価見直し(引上げ)に合わせ、R6.10.1～R7.3.31における補助単価の引上げに伴う申請があり、増額を決定した(R6.9.30)。 休日昼間の二次救急事業実施期間を変更(年末年始につき当初の6日間からR7.1.2を除き5日間に縮小)したいとする申請があり、縮小分の減額を決定した(R6.12.19)。							取組中(継続)	
								完了	
指標								指標名	
	救急医療体制の確保		値	維持	維持	維持	維持	維持	維持
			時点	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
	指標の達成状況		概ね目標を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	東京女子医科大学附属八千代医療センターが提供する救急医療の運営に要する経費に対して補助金を交付することで、救急医療体制の確保に寄与した。一方、国が進める医師の働き方改革の影響により、同センターを含む複数の市内医療機関で夜間・休日の診療に必要な医師の確保が困難となり、従来の救急医療体制の維持に支障(当番医不在の曜日・時間帯)が出た。					救急医療体制維持のため、令和6年度下半期から医師会への夜間救急急病待機業務委託及び公的病院等救急医療事業補助金の単価を上げたところであり、今後も公的病院等に対する補助と医師会等への業務委託の整合・バランスに留意しながら、救急医療体制の維持を図る。			

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1. 義務教育

第2章-1 西八千代地区生徒増対策事業

担当課： 学務課

事業概要	計画	令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
		中学校対応方針検討・決定				当初予算額	0千円		
	実績	中学校対応方針検討			補正	月			
						月			
						月			
	西八千代地区の中学校生徒数の急増に対応するため、対応方針を決定し、実施する。					流充用等			
予算現額						0千円			
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	生徒増への対策(中学校)		中学校対策の方針検討	中学校対策の方針検討	中学校対策の方針検討	中学校対策の方針決定			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	生徒増への対策(中学校)		中学校対策の方針検討	検討委員会の開催	中学校対策の方針検討	方針決定の時期を延期			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	・第11回 西八千代地区小中学校等対策検討委員会開催(令和6年8月26日) ・第12回 西八千代地区小中学校等対策検討委員会開催(令和7年1月23日)							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	中学校生徒増対応方針決定	値			未完了	未完了	未完了	方針決定	
		時点			令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成に向け順調に推移						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	令和6年5月に示した「西八千代地区中学校対策の方向性」に沿って検討委員会にて「既存施設の活用」について検討を進めた。「県立高校の施設」を活用できる可能性については、県教育委員会が進める「県立高校改革推進プラン」の「第2次実施プログラム」(案)が令和7年度上半期に示される見込みであることから、方針決定の時期を延期をした。					千葉県教育委員会が進める「県立高校改革推進プラン」の「第2次実施プログラム」(案)が令和7年度上半期に示される見込みであることから、県教育委員会の動向を注視しつつ、現在の案である当該地区の「市立小中学校の活用」または「県立高校の活用」について検討していく。			

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1. 義務教育

第2章-2 みどりが丘小学校分離新設校建設事業

担当課： 教育総務課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		44千円	
	計画	設計工事				当初予算額		1,336,107千円	
	実績	設計工事			補正	月			
						月			
						月			
	西八千代地区の児童数急増に対応するため、みどりが丘小学校分離新設校を建設する。					流充用等			
予算現額						1,336,151千円			
決算額						190,120千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	分離新設校建設事業		実施設計	実施設計	実施設計・工事	工事	⇒		
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	分離新設校建設事業		実施設計	実施設計	実施設計	工事	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	みどりが丘小学校分離新設校設計完了(令和6年12月) みどりが丘小学校分離新設校建設工事着工(令和7年1月)							取組中(継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	設計完了	値						設計完了	設計完了
		時点						令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	令和8年3月中の竣工に向けて、令和6年度は設計を完了させて、工事に着手することができた。					令和8年4月の開校に向けて事業を進めていく。			

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1. 義務教育

第2章-3 小・中学校施設整備事業

担当課： 教育総務課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	292,952千円		
	計画	工事設計				当初予算額	793,431千円		
	実績	工事設計			補正	9月	180,161千円		
						12月	24,142千円		
						3月	705,723千円		
	公共施設等個別施設計画等に基づき公立学校施設を計画的に改修する。					流充用等			
予算現額						1,996,409千円			
決算額						964,008千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	高津中(長寿命化設計)		実施設計	実施設計完了					
	新木戸小(トイレ改修)		業者選定・業者決定	工事	工事	工事完了			
	萱田小(トイレ改修)		業者選定・業者決定	工事	工事	工事完了			
	大和田小(長寿命化改修)		業者選定・業者決定	工事	工事	工事	⇒		
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	高津中(長寿命化設計)		実施設計	実施設計完了					
	新木戸小(トイレ改修)		業者決定	工事	工事完了				
	萱田小(トイレ改修)		業者決定	工事	工事完了				
	大和田小(長寿命化改修)		業者決定	工事	工事	工事	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況		
	高津中学校:長寿命化改修工事実施設計業務完了(令和6年9月)・プール解体工事完了(令和6年10月) 新木戸小学校:トイレ改修工事完了(令和6年11月) 萱田小学校:トイレ改修工事完了(令和6年11月) 大和田小学校:長寿命化改修工事令和6年度予定分完了(令和7年3月)							未着手	
								取組中(継続)	○
								完了	
								指標名	
指標	校舎・体育館のトイレ乾式化率		値	64%	70%	70%	70%	72%	75%
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		やや目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	長寿命化改修工事、トイレ改修工事等、公立学校施設の計画的な改修を順次実施した。工事に伴う安全性の確保や教育環境への影響等を踏まえ改修工事を行った結果、トイレ乾式化率はやや目標値を下回っている。				令和7年度に引き続き実施する大和田小学校を始めとして、順次実施していく長寿命化改修工事の中で、トイレ改修や多目的トイレ整備も実施するため、今後も継続してトイレ乾式化率は上昇していく予定である。				

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1. 義務教育

第2章-4 外国語指導助手派遣事業

担当課: 指導課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円			
	計画	推進				当初予算額	62,756千円			
	実績	推進			補正	月				
						月				
						月				
知識基盤社会の時代を迎え、自立し他者と協働して未来を切り開いていくグローバル人材を育成するために、国際教育・外国語教育を充実させるとともに教職員の資質向上に努める。					流充用等					
					予算現額		62,756千円			
					決算額		61,556千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	外国語教育指導助手派遣		業務開始	⇒	⇒	⇒				
	中学校外国語指導助手配置		業務開始	⇒	⇒	⇒				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	外国語教育指導助手派遣		契約、業務開始	推進	推進	推進				
	中学校外国語指導助手配置		業務開始	推進	推進	推進				
	当 年 度 実 績						取組状況			
	【外国語教育指導助手派遣(単価契約)】令和5年度～令和7年度 支払済額:27,221,470円 受託者:(株)ハートコーポレイション、14名(20校)							未着手		
								取組中(継続)		○
								完了		
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標	
	ALT派遣人数		値	12人	12人	12人	14人	14人	14人	
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組				
	派遣人数は目標を達成したが、配置率については目標を下回った。空き時間を有効活用することが課題。					各校へ、ALTの空き時間の目安について再度説明し、有効活用できるように働きかける。				

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1. 義務教育

第2章-5 コンピュータ教育事業

担当課： 教育センター

事業概要		令和6年度				計画額	前年度繰越額		0千円				
	計画	推進 システム構築						当初予算額		598,783千円			
	実績	推進 システム構築				補正	9月		9,720千円				
							月						
							月						
	GIGAスクール構想に基づき、システム整備を行う。						流充用等		134千円				
						予算現額		608,637千円					
						決算額		606,950千円					
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	運用管理(教育ネット)		運用管理		一年延長契約		運用管理		⇒				
	運用管理(GIGA)		運用管理		⇒		⇒		⇒				
	リプレイス		公告		契約		構築		構築				
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	運用管理(教育ネット)		運用管理		一年延長契約		運用管理		⇒				
	運用管理(GIGA)		運用管理		⇒		⇒		⇒				
	リプレイス		公告		入札・事業者選定		構築		構築				
	当 年 度 実 績												
	・教育ネットワークシステム運用管理業務委託 平成30年度～令和6年度 4月～8月分 196,529,625円										取組 状況	未着手	
	・教育ネットワークシステム運用管理業務委託 令和6年度～令和7年度 9月～3月分 263,644,150円											取組中 (継続)	○
	・GIGAスクール構想対応端末運用管理委託 令和2年度～令和7年度 4月～3月分 108,147,600円												
	・教育ネットワークシステム大和田小学校長寿命化改修工事環境整備業務委託 10,418,100円												
・教育ネットワークシステム周辺機器修繕等 21,787,172円													
・WiFi用ルーター購入費及び回線使用料 117,522円										完了			
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標				
	タブレット端末を利用した授業の割合		値	36%	48%	54%	58%	54%	75%				
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末				
	指標の達成状況		目標達成困難										
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組							
	平成30年度に導入した教育ネットワークシステムを1年延長し、引き続きGIGAスクール構想端末運用管理業務委託とともに運用を行った。タブレット端末を利用した授業の割合は54%を超えており、一定の効果が見られたものの、当初設定した目標に届いていない。					ネットワークや端末の起動速度に課題があり、活用向上につながらなかった。また、さまざまなアプリケーションが入っていることが逆に横展開を妨げていたことが考えられる。次期システム構築において、横展開が進むようなシステムを作り上げるとともに、LeadingDXスクール事業をはじめとして、学校間の横展開を教育委員会として支援していく。							

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第1節 教育

1. 義務教育

第2章-6 部活動地域移行事業

担当課： 保健体育課

事業概要	計画	令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
		部活動指導員配置 連絡アプリの導入				当初予算額	220千円		
	実績	部活動指導員配置 連絡アプリの導入			補正		月	0千円	
							月		
							月		
	将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、中学校の部活動改革に取り組み、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域全体で持続可能で多様な環境を一体的に整備する。 中学校の休日部活動の地域移行を目指し、段階的に移行できるよう、まずは地域連携するために部活動指導員を導入する。					流充用等		-175千円	
予算現額						45千円			
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	部活動指導員配置		指導員を15名配置						
	連絡アプリの導入		市内11校に導入						
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	部活動指導員配置		指導員を13名配置		指導員1名増員	指導員1名減少			
	連絡アプリの導入		市内10校に導入						
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【部活動地域移行事業】 ・市内中学校及び義務教育学校において、10校14部活動に、14名の部活動指導員を派遣							取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	部活動指導員配置	値				3校4部活動	10校14部活動	各学校1部活	
		時点				令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		概ね目標を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	目標には届かなかったが、学校の要望に応じて、令和5年度より多くの部活動指導員を配置することができた。一部、専門的指導を受ける機会が確保され、指導の充実と教員の負担軽減につながった。 部活動指導員の配置を拡大することが課題となる。					学校の要望があれば、部活動指導員がすぐに配置できるように部活動指導員の増員に取り組んでいく。 部活動の地域展開を進めるために、教員と指導員の兼職兼業できる体制を構築する必要がある。			

第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり

第4節 スポーツ

1. スポーツ・レクリエーション

第2章-7 市民体育館改修事業

担当課: 文化・スポーツ課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	工事				当初予算額	397,981千円		
	実績	工事			補正	3月	-11,687千円		
						月			
						月			
	総合運動公園市民体育館主体体育室の特定天井を撤去するとともに、老朽化対応として空調機器及びエレベーターの更新、内外装の改修等を行う。					流充用等			
予算現額						386,294千円			
決算額						366,399千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	改修工事			契約，工事着手	⇒	⇒	⇒		
	改修工事監理業務委託			契約，業務開始	⇒	⇒	⇒		
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	改修工事			契約，工事着手	⇒	⇒	⇒		
	改修工事監理業務委託			契約，業務開始	⇒	⇒	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【市民体育館改修工事】契約日：令和6年6月28日 建築 請負業者：周郷建設(株) 事業費：令和6年度374,942,990円 電気 請負業者：浦安電設(株) 事業費：令和6年度 0円 機械 請負業者：(株)長岡製作所 事業費：令和6年度 0円 【市民体育館改修工事監理業務委託】契約日：令和6年7月9日 受託業者：(株)カトウ建築設計事務所 事業費：令和6年度11,350,585円							取組中 (継続)	○
								完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
改修工事着手		値						工事着手	工事着手
		時点						令和6年度末	令和6年度末
指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	目標どおり工事に着手することができた。しかしながら、変更契約が必要となり、事業期間も延長されることになった。				施工業者と連携し、これ以上工期が延びることがないように、進捗管理を行う。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

1. 防災・減災

第3章-1 災害用物資備蓄事業

担当課: 危機管理課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円			
	計画	整備				当初予算額	7,785千円			
	実績	整備			補正		月			
							月			
							月			
	発災から3日間における被災者等の生命維持に最低限必要な物資を、八千代市防災備蓄計画に沿って計画的に備蓄する。					流充用等		2,062千円		
予算現額						9,847千円				
決算額						7,472千円				
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	災害用備蓄食料等購入		契約, 納品(ミルク)		契約	納品				
	災害用備蓄品購入				契約	納品				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	災害用備蓄食料等購入		契約, 納品(ミルク)		契約	納品				
	災害用備蓄品購入				契約(オムツ等)	契約, 納品				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手		
	【災害用備蓄食料等購入】							取組中 (継続)	○	
	・液体ミルク200㎖ 2,112本 納品日:令和6年6月21日 支出額:474,440円 ・アルファ米(白米, 五目, 白がゆ)白米・五目2,000食, 白がゆ5,000食 納品日:令和7年2月28日 支出額:1,500,120円									
	【災害用備蓄品購入】							完了		
	・簡易トイレ・テント トイレ87基, テント87張 納品日:令和7年3月24日 支出額:4,397,415円 ・飲料水500㎖ 7,008本 納品日:令和7年2月28日 支出額:779,570円 ・オムツ・生理用品 乳児用おむつ3,600枚, 大人用おむつ2,284枚, 生理用品8,784枚 納品日:令和7年2月28日 支出額:320,738円									
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
		各種備蓄品整備率		値	70.9%	64.7%	70.8%	93.6%	97.6%	100%
				時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
		指標の達成状況		概ね目標を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組					
	令和6年度における目標数の整備が完了した。 トイレについては令和7年度に購入予定だった基数も前倒しで購入したため、目標以上の達成となった。 備蓄計画で定めている品目については概ね目標数に達しているがさらなる災害対策強化のため、次なる品目等を整備していく必要がある。				備蓄計画を見直し、整備が必要な品目を精査する。					

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

1. 防災・減災

第3章-2 地域排水整備事業

担当課： 土木建設課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	調査				当初予算額	0千円		
	実績	調査			補正	月			
						月			
						月			
	集中豪雨等による冠水被害を軽減するため、地域排水及び道路排水施設等の雨水排水施設の整備・改修を実施する。					流充用等			
予算現額						0千円			
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	冠水被害地域調査		情報収集	⇒	⇒	⇒			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	冠水被害地域調査		情報収集	⇒	⇒	⇒			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	冠水被害のあった地域に関する資料の収集							取組中（継続）	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	冠水問題の解消	値	未解消	未解消	未解消	未解消	未解消	未解消	解消
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	大雨が降っている状況で現場を確認しないと、どのように冠水していくか原因把握が難しい。					今後も引き続き情報収集に努める。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

1. 防災・減災

第3章-3 勝田川改修事業

担当課： 土木建設課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	負担金				当初予算額	0千円		
	実績	負担金			補正	3月	15,925千円		
						月			
						月			
	勝田川(勝田川の上流排水路含む)の溢水対策として、千葉市、四街道市、八千代市、佐倉市の4市で構成する勝田川改修協議会により上流排水路の改修等を実施する。千葉市が主体となり、その費用の一部を負担する。					流充用等			
予算現額						15,925千円			
決算額						11,886千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	負担金					補正予算, 支払い			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	負担金					補正予算, 支払い			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【勝田川改修協議会】 令和6年5月開催 【勝田川改修事業負担金】 支払額:11,886,218円, 内容:宇那谷2号排水路工事等							取組中(継続)	○
								完了	
指標名									R2年度実績
指標	勝田川の溢水対策工事延長		値	0m	48m	48m	178m	298m	680m
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		やや目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	過年度分の繰越工事が完了したため、整備延長に進捗はあったが現年度分の工事が繰越しとなったため、予定していた整備延長には達しなかった。					千葉市主体で行っている事業のため、協議会を通して進捗状況の確認に努める。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

1. 防災・減災

第3章-4 準用河川高野川改修事業

担当課: 土木建設課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	用地買収 橋梁詳細設計 用地測量				当初予算額	85,090千円		
	実績	用地買収 橋梁詳細設計 用地測量			補正		月		
							月		
							月		
	降雨による冠水被害が頻繁に発生していることから、準用河川高野川の改修を行う。					流充用等			
予算現額						85,090千円			
決算額						19,561千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	用地取得(3件)		裁判所申出	用地交渉	⇒	完了			
	天神橋詳細設計			契約・業務着手	⇒	完了			
	用地測量(天神橋付近)		契約・業務着手	⇒	⇒	完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	用地取得(3件)		裁判所申出	用地交渉	⇒	⇒	⇒		
	天神橋詳細設計			契約・業務着手	⇒	⇒	⇒		
	用地測量(天神橋付近)					契約・業務着手・完了			
	当 年 度 実 績						取組 状 況	未着手	
	【用地取得】 所有者不明土地管理人申立:令和6年4月24日 用地取得対象:4件(用地取得1件, 3件は令和7年度へ繰越)							取組中 (継続)	○
	【天神橋橋梁詳細設計業務委託】 支払額(前払金):12,800,000円, 契約日:令和6年7月17日, 内容:橋梁(天神橋外1橋)詳細設計, 令和7年度へ繰越								
	【準用河川高野川(天神橋付近)用地測量業務委託】 支払額:2,420,000円, 完了日:令和7年3月31日, 内容:準用河川高野川(天神橋付近)用地測量							完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
橋梁の詳細設計完了		値	未着手	未着手	橋梁予備設計着手	橋梁予備設計完了	橋梁詳細設計着手	完了	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		やや目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	4件の用地交渉を行い, 1件は用地取得, 外3件は事業協力への意思確認は出来たが所有者不明土地管理人の選定に時間を要したことから繰越となった。今後は速やかに契約が締結できるよう手続きを進める。また, 橋梁詳細設計については, 測量や軟弱地盤解析の結果, 無名橋の構造の検討等の追加作業により不測の日数を要し繰越となった。今後は, 検討した結果を基に関係する事業者と協議していく。					次年度以降も地権者交渉を行い用地買収に応じてもらえるよう努める。また繰越となった詳細設計については, 検討した内容を基に高圧ガス管理者と協議を行い, 円滑に事業が進むよう設計内容を精査していく。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

1. 防災・減災

第3章-5 急傾斜地崩壊対策事業（市）

担当課： 土木建設課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	51,100千円		
	計画	工事				当初予算額	80,300千円		
	実績	工事			補正	月			
						月			
						月			
	急傾斜地法に基づき区域指定された急傾斜地の崩壊による災害を防止するため、崩壊対策施設の整備を実施する。					流充用等			
予算現額						131,400千円			
決算額						75,199千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	崩壊対策工事(繰越)		工事完了						
	崩壊対策工事			契約, 工事着手	⇒	工事完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	崩壊対策工事(繰越)		工事完了						
	崩壊対策工事			契約, 工事着手	⇒	⇒	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【下高野地区急傾斜地崩壊対策工事(繰越)】 支払金額(残金):43,599,100円, 完了日:令和6年5月31日, 内容:吹付法砕工, 施工延長 L=55.5m							取組中(継続)	○
	【下高野地区急傾斜地崩壊対策工事】 支払金額(前払金):31,600,000円, 契約日:令和6年9月18日, 内容:吹付法砕工, 施工延長 L=70m, 令和7年度へ繰越							完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
整備による保全家屋戸数(県事業含む)		値	333棟	334棟	334棟	335棟	336棟	337棟	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標達成に向け順調に推移							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	下高野地区の令和5年度から繰越した工事が完了したことにより, 対策施設整備率が向上した。当年度の工事は年度内での完了が困難となり, 翌年度へ繰越しとなった。				下高野地区の工事を引き続き行い, 対策整備率を促進させる。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

1. 防災・減災

第3章-6 急傾斜地崩壊対策事業（県）

担当課： 土木建設課

事業概要		令和6年度				計画額	前年度繰越額		0千円				
	計画	負担金						当初予算額		0千円			
	実績	負担金				補正	3月		3,000千円				
							月						
							月						
急傾斜地法に基づき区域指定された急傾斜地の崩壊による災害を防止するため、崩壊対策施設の整備を推進する。千葉県が事業主体となるものについて、その費用の一部を負担する。						流充用等							
						予算現額		3,000千円					
						決算額		1,417千円					
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	(桑納地区)地形測量												
	(大和田地区)地質調査												
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	(桑納地区)地形測量				契約, 着手		⇒		完了				
	(大和田地区)地質調査				契約		着手		完了				
	当 年 度 実 績										取組状況		
	【桑納地区】 桑納地形測量 完了年月日:令和7年3月25日 支払額2,915,000円(市負担額583,000円) 【大和田地区】 大和田地質調査 完了年月日:令和7年1月31日 支払額4,172,300円(市負担額834,460円)											未着手	
												取組中(継続)	○
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標				
	整備による保全家屋戸数(市事業含む)	値	333棟	334棟	334棟	335棟	336棟	337棟					
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末					
	指標の達成状況		目標達成に向け順調に推移										
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組							
	一部未整備区間のある地区の測量業務および地質調査を実施し、対策整備に向けて事業が進んでいる。事業が進展するに伴い、負担金が発生するため状況を踏まえ予算を計上する必要がある。					千葉県が主体で行う事業であるため、引き続き進捗状況を適宜確認し円滑に事業が進むよう予算の確保に努める。							

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

2. 消防

第3章-7 予防業務事業

担当課: 予防課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	実施				当初予算額		72千円	
	実績	実施			補正	月			
						月			
						月			
火災発生危険及びこれに伴う人命危険を予防するために,防火対象物や危険物施設への立入検査を行い,モバイル機器を用いた迅速な違反是正を実施する。					流充用等				
					予算現額		72千円		
					決算額		56千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	立入検査		21件	32件	84件	20件			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	立入検査		37件	44件	89件	42件			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	立入検査数:212件 公表数 : 6件 警告件数 : 14件 命令件数 : 2件							取組中(継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	現地での通知書交付率		値	0%	28.5%	17.1%	17.2%	18.4%	50%
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	立入検査は計画以上の実施件数があり増加した。現地での通知書交付率は増加が見られなかったが、モバイル機器使用により迅速な違反是正が実施された。 現地での通知書交付率が改善されなかった。				立入検査と現地での通知書交付を並行して実施する件数を増やす。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

2. 消防

第3章-8 消防車両等整備事業

担当課： 警防課

事業概要		令和6年度		計画額	前年度繰越額		0千円		
	計画	整備				当初予算額	231,737千円		
	実績	整備			補正				
						月			
						月			
						月			
複雑多様化する災害に対応するため、消防車両等更新計画に基づき、消防車両等の更新及び増強を行う。					流充用等				
					予算現額		231,737千円		
					決算額		40,668千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	リース車両3台		賃貸借	⇒	⇒	⇒			
	新リース車両3台		入札・契約・賃貸借	⇒	⇒	⇒			
	救助工作車整備		入札・契約	着手	中間検査	完成検査			
	高規格救急自動車整備		入札・契約	着手	中間検査・完成検査				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	リース車両3台		賃貸借	⇒	⇒	⇒			
	新リース車両3台		入札・契約・賃貸借	賃貸借	⇒	⇒			
	救助工作車整備		入札・契約	着手	⇒	⇒	⇒		
	高規格救急自動車整備		仕様書確定	入札・契約	中間検査・完成検査				
	当 年 度 実 績						取組状況		
	【旧団長車・原因調査車リース】契約期間：H29.6.1～R6.5.31，賃貸人：㈱トヨタレンタリース千葉，賃借料(月額)61,160円×2月＝122,320円							未着手	
	【軽貨物リース】契約期間：H30.7.1～R7.6.30，賃貸人：㈱トヨタレンタリース新千葉，賃借料(月額)27,216円×12月＝326,592円							取組中 (継続)	○
	【予防4リース】契約期間：R5.12.1～R13.11.30，賃貸人：東光石油㈱，賃借料(月額)24,145円×12月＝289,740円								
	【新団長車・原因調査車・総務1リース】契約日：R6.4.24，契約期間：R6.6.1～R13.5.31，賃貸人：東光石油㈱賃借料(月額)87,890円×10月＝878,900円								
【救助工作車(中R1)】契約日：R6.6.28，契約金額：188,100,000円，次年度繰越						完了			
【救急車(中A2)】契約日：R6.9.27，契約金額：39,050,000円，支出金額39,050,000円，完了日R6.12.10									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	更新が完了した車両率		値	73%	73%	75%	82%	76%	100%
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
指標の達成状況		やや目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	車両更新基準を超過した車両も多く、また、新たに更新基準を超過する車両が年度を経ることで増加していくため、更新時期を迎えた車両については、可能な限り早い時期での車両更新を実施する必要がある。				活用できる特定財源を精査し、車両更新に係る財源を確保していく。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

3. 防犯

第3章-9 防犯灯設置事業

担当課: 危機管理課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円			
	計画	設置				当初予算額	3,744千円			
	実績	設置			補正	月				
						月				
						月				
	夜間の犯罪防止及び不特定多数の人が通行する生活道路の安全を確保するために、防犯灯の整備及び維持管理を行う。					流充用等				
予算現額						3,744千円				
決算額						3,399千円				
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	防犯灯設置要望受付		受付	受付	受付	受付				
	設置箇所検討		検討	検討	検討	検討				
	防犯灯新設工事		工事契約・完了	工事契約・完了	工事契約・完了	工事契約・完了				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	防犯灯設置要望受付		受付	受付	受付	受付				
	設置箇所検討		検討	検討	検討	検討				
	防犯灯新設工事		工事契約①	工事契約②完了①	工事契約③完了②	工事契約④⑤・完了③④⑤				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	○	
	防犯灯新設工事灯数実績 計47灯									
	【防犯灯新設工事】内容:LED防犯灯を設置,完了日:7月30日,支払額:186,780円									
	【防犯灯新設工事(その2)】内容:LED防犯灯を設置,完了日:10月31日,支払額:322,300円									
	【防犯灯新設工事(その3)】内容:LED防犯灯を設置,完了日:1月28日,支払額:505,670円									
	【防犯灯新設工事(その4)】内容:LED防犯灯を設置,完了日:3月10日,支払額:982,080円						取組中 (継続)			
	【防犯灯新設工事(その5)】内容:LED防犯灯を設置,完了日:3月26日,支払額:277,200円									
その他工事実績 内容:LED防犯灯の交換・撤去・移設,完了日:随時,支払額:1,124,530円										
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績		目標
	防犯灯新設灯数		値	83灯	184灯	263灯	333灯	380灯		296灯
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組				
	防犯灯新設の設置は、概ね目標を達成した。 県内の刑法犯認知件数は増加している中、市内の件数は微減していることから、少なからず効果はあると考えられる。					今後も引き続き、防犯灯の整備及び維持管理を行う。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

3. 防犯

第3章-10 防犯カメラ設置費補助事業

担当課: 危機管理課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	助成				当初予算額	2,400千円		
	実績	助成			補正		月		
							月		
							月		
自治会等が行う防犯カメラの設置に要する経費に対し、補助金を交付する。					流充用等				
					予算現額		2,400千円		
					決算額		1,778千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	交付申請		交付申請完了						
	交付決定・工事		交付決定		工事完了				
	実績報告					実績報告完了			
	交付額確定・支出完了					交付額確定・支出完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	交付申請		交付申請完了						
	交付決定・工事		交付決定		工事完了	工事完了			
	実績報告					実績報告完了			
	交付額確定・支出完了					交付額確定・支出完了			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【防犯カメラ設置事業補助金】 交付申請団体数:5団体 設置台数:10台 交付決定日:8月9日 交付決定額:1,778,000円 支出日:令和7年2～3月							取組中(継続)	○
								完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
補助金により設置した防犯カメラの台数		値	0台	6台	10台	18台	28台	40台	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	事業目標には及ばなかったが、5団体10台と例年に比べ多くの実績を挙げることができた。県内の刑法犯認知件数は増加している中、市内の件数は微減していることから、少なからず効果はあると考えられる。				今後も引き続き、防犯カメラ補助金の啓発活動を実施する。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

4. 交通安全

第3章-11 交通安全施設整備事業

担当課: 土木維持課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	工事				当初予算額	66,671千円		
	実績	工事			補正		月		
							月		
							月		
	交通事故のない安全な生活を確保するため、道路照明灯、防護柵、区画線、反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備と維持管理を行うとともに、バリアフリー等を考慮し、各施設への安全で快適なアクセスを充実するため、歩行支援施設の整備を行う。					流充用等	3,205千円		
					予算現額	69,876千円			
					決算額	69,876千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	交通安全施設補修工事		工事	工事	工事	工事			
	交通安全施設設置工事		工事	工事	工事	工事			
	歩行支援施設整備工事		工事	工事	工事	工事			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	交通安全施設補修工事		工事	工事	工事	工事			
	交通安全施設設置工事		工事	工事	工事	工事			
	歩行支援施設整備工事		工事	工事	工事	工事			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【交通安全施設補修工事】 件数:19件, 支払金額48,198,224円, 内容:道路反射鏡, 防護柵, 区画線, 照明							取組中 (継続)	○
	【交通安全施設整備工事】 件数:8件, 支払金額9,060,700円, 内容:道路反射鏡, 防護柵								
	【歩行支援施設整備工事】 件数:12件, 支払金額12,617,000円, 内容:路面表示, ベンチ, 歩道切下げ, 手摺り								
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
道路照明灯, 防護柵, 区画線, 反射鏡, 道路標識等の交通安全施設の整備		値	—	—	—	—	—	—	整備
		時点	—	—	—	—	—	—	令和6年度末
指標の達成状況		概ね目標を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	当年度実施工事の発注及び施工が完了した。				継続して整備を行っていく。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

4. 交通安全

第3章-12 通学路整備事業

担当課： 土木維持課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	測量				当初予算額	2,178千円		
	実績	測量			補正	月	0千円		
						月			
						月			
	児童・生徒の通学時の安全確保のため、通学路安全プログラムに位置づけされた通学路の整備を実施する。					流充用等			
						予算現額		2,178千円	
決算額						1,705千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	村上228号線の歩道整備			委託	委託	委託			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	村上228号線の歩道整備			—	委託	委託			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【村上228号線現地測量業務委託】 支払金額:1,705,000円, 完了日:令和7年2月14日, 内容:現地測量0.008km ²							取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	村上228号線の歩道整備	値	未整備	未整備	未整備	未整備	未整備	未整備	整備
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	当該路線の現地測量を行った。					測量結果を基に関係各所と調整を行った上で、次年度以降に実施設計及び整備を行っていく。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第2節 暮らしの安全

4. 交通安全

第3章-13 自転車ネットワーク整備事業

担当課: 土木維持課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円				
	計画	工事				当初予算額		26,796千円				
	実績	工事			補正	月						
						月						
						月						
	自転車および歩行者の安全通行のため、駅や公共施設等を拠点とした主要路線について自転車通行帯を整備する。					流充用等		-3,205千円				
予算現額						23,591千円						
決算額						23,023千円						
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度	
	整備工事						工事		工事			
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度	
	整備工事						工事		工事			
	当 年 度 実 績											
	【自転車通行空間整備工事】 支払金額:23,023,000円, 完了日:令和7年2月25日, 内容:整備延長1,578m										取組 状況	未着手
										取組中 (継続)		○
										完了		
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標			
	自転車通行帯整備		値	—	0路線	1路線	2路線	1路線	4路線			
			時点	—	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末			
	指標の達成状況		目標以上を達成									
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組						
	ゆりのき台2号線について、予定通り実施した。					継続して整備を行っていく。						

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

1. 水道

第3章-14 八千代台浄水場施設改良事業

担当課： 上水道課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	35,811千円		
	計画	工事				当初予算額	699,154千円		
	実績	工事			補正	月			
						月			
						月			
	八千代市水道施設再構築基本計画に基づき、場内連絡管の改造、電気設備の更新及び機能増設を行う。					流充用等			
予算現額						734,965千円			
決算額						714,150千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事(場内配管)		工事施工	⇒	⇒	工事完了			
	工事(機械・電気)		工事施工	⇒	⇒	工事完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事(場内配管)		工事施工	⇒	⇒	工事完了			
	工事(機械・電気)		工事施工	⇒	⇒	工事完了			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	①八千代台浄水場施設改良(場内配管)工事 場内配管布設工事、場内配管撤去工事 契約金額(変更後)181,956千円 令和6年度:108,789千円 ②八千代台浄水場施設改良(機械・電気)工事 電気計装設備工事、機械設備工事、工場製作 契約金額(変更後)608,430千円 令和6年度:605,361千円							取組中(継続)	
								完了	○
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	場内配管工事、機械・電気工事の完成	値	未完了	未完了	未完了	未完了	完了	各工事の完成	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	【効果】老朽化している施設の改修を行った。 【課題】なし				課題なし				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

1. 水道

第3章-15 災害時応急給水用機材整備事業

担当課： 上水道課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	整備				当初予算額	4,620千円		
	実績	整備			補正	月			
						月			
						月			
	地震等の災害時や断水時に速やかに応急給水が出来るよう、給水用資材を整備する。					流充用等			
予算現額						4,620千円			
決算額						2,838千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	組立式給水タンクの購入			契約	購入完了				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	組立式給水タンクの購入		購入準備	契約	購入完了				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	組立式給水タンク R6年9月11日契約 契約金額:2,838,000円 納品日:R6年12月25日							取組中(継続)	
完了								○	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	給水用資材整備数		値	31基	31基	31基	35基	39基	39基
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	【効果】地震等の災害時に備えることができた。 【課題】保有しているタンクの維持管理					使用が出来なくなったタンクの入替えを検討する。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

1. 水道

第3章-16 管路耐震化事業

担当課： 上水道課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	493,680千円		
	計画	工事 実施設計				当初予算額	1,094,554千円		
	実績	工事 実施設計			補正		月		
							月		
							月		
	非耐震管等の老朽管を地震・災害に強いダクタイル鋳鉄管へ布設替えを行う。					流充用等		-3,762千円	
予算現額						1,584,472千円			
決算額						666,639千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事(繰越)		工事完了2件	工事完了4件	工事完了1件				
	実施設計(繰越)								
	工事		工事施工	⇒	⇒	工事完了3件	⇒		
	実施設計		業務実施	業務完了1件					
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事(繰越)		工事完了2件	工事完了3件	工事完了1件	工事完了1件			
	実施設計(繰越)								
	工事		工事施工	⇒	⇒	工事完了2件	⇒		
	実施設計		業務実施	⇒	業務完了1件	⇒	⇒		
	当 年 度 実 績						取 組 状 況	未着手	
	(繰越) 《局単独工事》【完了】 7件 (令和6年度分) 《局単独工事》【施工中】 7件 【完了】 2件 《設計業務》【作業中】 2件 【完了】 1件							取組中 (継続)	○
								完了	
								指標名	
	指標	耐震化率		値	60.2%	60.9%	62.0%	62.9%	63.4%
時点				令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
指標の達成状況		目標達成に向け順調に推移							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	【効果】耐震化率向上を図った。 【課題】物価上昇等に伴う工事費の上昇により、予算確保が課題となる。				予算及び人員の確保を検討していく。				

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

2. 下水道

第3章-17 下水道施設改良事業

担当課： 下水道課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	委託工事				当初予算額	133,519千円		
	実績	委託工事			補正		月		
							月		
							月		
下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の改築更新を実施していく。					流充用等				
					予算現額		133,519千円		
					決算額		29,225千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	計画策定業務委託		-	契約，業務着手	⇒	業務完了			
	汚水管渠調査委託		-	契約，業務着手	⇒	業務完了			
	雨水管渠調査委託		-	契約，業務着手	⇒	業務完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	計画策定業務委託		-	-	契約，業務着手	⇒	⇒		
	汚水管渠調査委託		-	契約，業務着手	⇒	業務完了			
	雨水管渠調査委託		-	契約，業務着手	⇒	業務完了			
	当 年 度 実 績						取組状況		
	【汚水管渠調査委託】契約日：令和6年9月19日，完了日：令和7年2月21日，支払額：15,899,400円，受注者：(株)京葉都市設計							未着手	
	【雨水管渠調査委託】契約日：令和6年9月11日，完了日：令和7年2月21日，支払額：13,325,400円，受注者：(株)道路建設コンサルタント							取組中（継続）	
	【計画策定業務委託】契約日：令和6年12月18日，完了予定日：令和7年9月30日，支払予定額：33,770,237円，受注者：(株)パスコ							完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	計画にて令和6年度までに予定している汚水管渠（幹線及び重要路線）の点検・調査実施率		値	46.3%	46.3%	54.6%	96.6%	96.6%	100%
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		概ね目標を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	ストックマネジメント計画に基づき汚水、雨水管渠の点検調査を実施した。ストックマネジメント計画（修繕・改築）の策定に着手した。ストックマネジメント計画（修繕・改築）の策定においては、既存施設のデータベース化に際して不測の日数を要してしまった。					下水道台帳の電子化を図り、既存施設の情報を整理する。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

2. 下水道

第3章-18 汚水管渠整備事業

担当課： 下水道課

事業概要		令和6年度				計画額	前年度繰越額		4,645千円
	計画	工事委託					当初予算額		83,268千円
	実績	工事委託			補正	月			
						月			
						月			
市街化区域において、下水道が未整備となっている一部の住宅地の整備等を行う。 西八千代南部地区や工業団地の整備について検討する。					流充用等		-28,070千円		
					予算現額		59,843千円		
					決算額		16,050千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	下水道管渠築造工事		随時工事実施	随時工事実施	随時工事実施	随時工事実施			
	公共汚水樹設置工事		随時工事実施	随時工事実施	随時工事実施	随時工事実施			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	下水道管渠築造工事		-	-	-	-			
	公共汚水樹設置工事		-	-	-	随時工事実施			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【下水道管渠築造工事】本管延伸工事なし 【公共汚水樹設置工事】 (その1) 契約日:令和6年10月16日, 完了日:令和7年1月15日, 支払額:910,800円, 受注者:大幸建設(株) (その2) 契約日:令和7年2月21日, 完了日:令和7年3月27日, 支払額:924,000円, 受注者:(株)蛭間興業							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	下水道整備人口普及率	値		92.5%	92.5%	92.6%	92.6%	92.5%	92.5%
		時点		令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	今後も未整備区域における汚水管渠の整備を図っていく。					未整備区域を整備するにあたって、関係各課・機関との調整を進める。			

第3章 安心・安全に暮らせるまちづくり

第3節 上下水道

2. 下水道

第3章-19 雨水管渠整備事業

担当課： 下水道課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	217,837千円		
	計画	工事 委託・補償				当初予算額	206,244千円		
	実績	工事 委託・補償			補正		月		
							月		
							月		
都市化の進展に伴う雨水流出量の増大などによる浸水被害から市民の命や財産を守るため、事業計画区域内の雨水管渠を整備する。					流充用等				
					予算現額		424,081千円		
					決算額		264,041千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	雨水排水整備工事①		-	契約・工事着手	⇒	⇒	⇒		
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	雨水排水整備工事①		-	契約・工事着手	⇒	⇒	⇒		
	当 年 度 実 績						取組 状況	未着手	
	【雨水排水整備工事①】 契約日：令和6年9月24日，完了予定日：令和7年9月9日 契約額：327,943,000円 受注者：(株)船越組 今年度支払額：40,480,110円							取組中 (継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	雨水管渠整備率		値	43.3%	44.5%	44.6%	46.8%	46.8%	43.5%
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	大和田地区(旧大和田公民館前)の浸水対策工事に着手した。地元調整により現場着手が遅れ，当初想定していた出来高に満たなかったため，工程を見直す必要が生じた。					引き続き工事等が計画どおりに完了するよう，関係各先との調整を進める。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

1. 市街地の整備・活性化

第4章-1 大和田駅北側地区まちづくり事業 担当課: 都市計画課まちづくり推進室

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円			
	計画	地元調整				当初予算額		0千円			
	実績	地元調整			補正	月					
						月					
							月				
	昭和44年に都市計画決定された後、長期間にわたって事業未着手の大和田駅北側地区土地区画整理事業について、実現可能な整備手法を検討し、住環境及び狭あい道路の改善並びに地域の防災機能等の向上を図る。					流充用等					
					予算現額		0千円				
					決算額		0千円				
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度
	関係団体等調整		関係団体等調整		関係団体等調整		関係団体等調整		関係団体等調整		
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度
	関係団体等調整		説明会の開催		ワークショップの開催		関係団体等調整		関係団体等調整		
	当 年 度 実 績										取組状況
	日本大学生産工学部との共同研究において地域住民を対象とした「大和田やわらかいまちづくりわーくしょっぷ」を開催し、まちづくりについての理解を深めた。 5月17日 説明会 7月20日(第1回)、9月7日(第2回)、9月20日(第3回) 京成大和田駅北側地区の土地区画整理事業の見直しについて、千葉県市街地整備課及び千葉土木事務所と協議を行い、今後の方向性について共有を図った。										
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標		
	整備計画(素案)の策定		値	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	整備計画策定		
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末		
	指標の達成状況		目標達成困難								
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組					
	ワークショップを通じて、地元住民の意向の確認を行った。また、千葉県との協議を通じ、大和田駅北側地区の土地区画整理事業区域を除外していく方向で事業を推進していくこととなった。					大和田駅北側地区の土地区画整理事業区域の除外に向け、必要となる整備や計画の作成を進めていく。					

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

1. 市街地の整備・活性化

第4章-2 西八千代南部地区まちづくり事業

担当課： 都市計画課まちづくり推進室

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	関係機関等との調整				当初予算額	0千円		
	実績	関係機関等との調整 調査委託			補正	9月	4,477千円		
						月			
		西八千代南部地区の土地利用や区画道路等に係る現況や課題を整理し、市街化区域への編入に向けた良好な市街地環境の整備・保全を図るため、まちづくりの将来像やまちづくり方針、地区計画等を検討する。				流充用等			
					予算現額	4,477千円			
					決算額	3,300千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	地元調整		意見募集	広報紙配布	地権者説明	広報紙配布			
	関係機関等との調整		打合せ	打合せ	打合せ	打合せ			
	現況特性調査				調査	調査			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	地元調整		意見募集・広報紙配布	第1四半期に実施済	未実施	未実施			
	関係機関等との調整		打合せ	打合せ	打合せ	打合せ			
	現況特性調査				調査	調査			
	当 年 度 実 績								
	西八千代南部地区の地権者等に対して、市街化区域編入に向けたまちづくりの進め方に関する意見募集及び質問会を開催し、結果報告として広報紙の配布を行った。 西八千代南部地区まちづくり方針等検討支援業務委託(契約日：R6.11.11)にて、現況特性調査を行った。						取組状況		
							未着手		
						取組中(継続)	○		
						完了			
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	地区計画(原案)の策定		値	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	地区計画(原案)策定
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	今年度、現況特性調査を行い、地域特性と課題を整理することができた。今後は地域の課題を解決していくためにどのように地区計画に落とし込んでいくかが課題である。				西八千代南部地区まちづくり方針等検討支援業務委託にて、引き続きまちづくり方針等の検討を進めつつ、随時関係機関との調整を図っていく。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

1. 市街地の整備・活性化

第4章-3 八千代台駅周辺活性化推進事業

担当課： 都市計画課まちづくり推進室

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	整備方針検討				当初予算額	0千円		
	実績	整備方針検討			補正	月			
						月			
						月			
	利用実態調査等を踏まえ、駅前広場や周辺道路等の整備方針等を作成する。				流充用等				
予算現額					0千円				
決算額					0千円				
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	意見収集		意見収集	意見収集					
	関係機関との調整		打合せ	打合せ	打合せ	打合せ			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	意見収集		意見収集	意見収集	意見収集				
	関係機関との調整		打合せ	打合せ	打合せ	打合せ			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	・京成電鉄 定例会(R7/1/20, 2/3) 担当者打合せ(5/8, 6/11, 8/6, 10/10, 11/8, R7/3/28) ・意見収集(27団体)							取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	整備方針素案の策定		値	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	整備方針策定
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	地元関係団体から意見収集・京成電鉄との定例会・担当者打合せを通し、今後の方向性の検討を行った。				地元関係団体の意見として、駅周辺を中心とした都市機能の更新が求められていることから、地域の活性化に繋がる具体的な整備内容を検討したうえで、都市機能の向上を進めていく。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2. 住宅

第4章-4 危険コンクリートブロック塀等撤去費補助事業

担当課： 建築指導課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	助成				当初予算額	1,500千円		
	実績	助成			補正	3月	-876千円		
						月			
						月			
	倒壊により通行人等への危害及び避難、救援活動に支障を及ぼすおそれのある道路沿いに設置された民間ブロック塀等の撤去費用に対して、助成する。					流充用等			
予算現額						624千円			
決算額						424千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	・危険コンクリートブロック塀等撤去費補助:5件 424,000円							取組中(継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	補助(撤去)件数		値	13件/年	20件/年	4件/年	2件/年	5件/年	10件/年
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成に向け順調に推移						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	当初目標より申請件数は下回っているが。危険コンクリートブロックのフォローアップ調査等により、補助金を活用しない撤去物件も確認できるため、本事業による効果があることも確認できる。				引き続き危険コンクリートブロック所有者に対する補助金活用に向けた周知・啓発を行う。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2. 住宅

第4章-5 マンション耐震診断費補助事業

担当課： 建築指導課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	助成				当初予算額		1,234千円	
	実績	実績なし			補正	3月		-1,234千円	
						月			
						月			
	昭和56年以前の耐震基準(旧耐震基準)により建築されたマンション(分譲に限る。)について、耐震診断に要する費用の一部を補助する。					流充用等			
予算現額						0千円			
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	実績なし							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	補助件数		値		0件	0件	0件	0件	3件
			時点		令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	当年度の補助金申請の実績はない。				引き続きマンション管理者に対する耐震の必要性等について周知・啓発を行う。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2. 住宅

第4章-6 木造住宅耐震診断費等補助事業

担当課： 建築指導課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	助成				当初予算額	5,800千円		
	実績	助成			補正	3月	-723千円		
						月			
						月			
耐震改修工事に対する補助金の拡充を図るとともに、引き続き耐震診断費補助及び耐震改修と併せてリフォーム工事費を補助する。また、周知啓発を図るため、戸別訪問を行う。					流充用等				
					予算現額		5,077千円		
					決算額		4,957千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	耐震診断補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	耐震改修補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	リフォーム補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	耐震診断補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	耐震改修補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	リフォーム補助募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	当 年 度 実 績						取組状況		
	・木造住宅耐震診断費補助:4件 240,000円 (交付決定5件, うち1件廃止) ・木造住宅耐震改修費補助:4件 3,941,000円 (申請5件, うち1件取下) ・木造住宅リフォーム費補助:3件 776,000円 (申請4件, うち1件取下) ・戸別訪問等:DM646件, 訪問407件							未着手	
								取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	戸別訪問等の実施数		値	113戸/年	1,090戸/年	1,139戸/年	1,360戸/年	1,053戸/年	1,500戸/年
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
指標の達成状況		概ね目標を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	耐震診断補助については当初目標を下回ったものの、耐震改修補助においては予定件数が消化された。耐震改修相談は数件控えているため次年度以降についても例年以上の申請や相談がある見込みがある。				引き続き耐震についての周知・啓発を行うとともに、申請希望者に対する予算の確保を行っていく。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2. 住宅

第4章-7 空家等対策推進事業

担当課： 建築指導課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円		
	計画	空家募集 助成				当初予算額		1,400千円		
	実績	空家募集			補正	月				
						月				
						月				
	空家等の発生予防、抑制を図るために啓発を行う。 空家等の利活用を促進するため、空家バンクの運営、空家リフォーム費補助を行う。					流充用等				
予算現額						1,400千円				
決算額						0千円				
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	補助事業募集期間		受付開始	⇒	受付終了					
	空家バンク事業の見直し		協議	見直し内容の決定	要綱改正					
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	補助事業募集期間		受付開始	⇒	受付終了					
	空家バンク事業の見直し		協議	協議	要綱改正					
	当 年 度 実 績						取組 状 況	未着手		
	八千代市空家等対策計画見直しに向けて、八千代市空家等対策推進会議を開催(7月) 八千代市空家等対策計画見直しに向けて、八千代市空家等対策協議会を開催(8月) 空家バンク見直しに向けて近隣市調査(8月)							取組中 (継続)	○	
								完了		
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標	
	空家バンクの登録件数		値	制度なし	0件	0件	2件	0件	60件	
			時点	—	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組				
	空家リフォーム補助件数も空家バンクの登録件数も目標達成に至らなかった。不動産の流通速度が早いこともあり空家バンクの登録件数が増加しにくいのが課題。					今後とも、空家の所有者に対する通知文に空家バンクの登録に関する書類を同封し周知を図っていく。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2. 住宅

第4章-8 管理不全空家等解消事業

担当課: 建築指導課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円		
	計画	相続財産清算人の申し立て					当初予算額		2,012千円	
	実績	相続財産清算人の申し立て			補正			月		
								月		
	管理不全空家等の解消を図るための法に基づく助言を実施するとともに、特定空家等の認定、認定に基づく指導、勧告、命令による事案の解消を図る。 管理者不存在の空家等の解消策の検討を行う。 空家等対策の推進に関する特別措置法等に基づく指導等を実施する。 相続財産清算人制度等を活用し、空家等の除却の推進を図る。					流充用等				
予算現額						2,012千円				
決算額						2,011千円				
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	清算人申立て		申立書の提出	清算人の選任						
	管理不全空家等の認定指導		認定	指導等	勧告の実施					
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	清算人申立て		申立書の提出	清算人の選任						
	管理不全空家等の認定指導		認定	指導等	勧告の実施					
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手		
	申立書の提出(5月) 管理不全空家等の事務マニュアル策定(5月) 管理不全空家等の認定(6月) 管理不全空家等への指導書の送付1回目(7月) 管理不全空家等への指導書の送付2回目(9月)							取組中(継続)	○	
								完了		
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
特定空家等の解消数		値	0件	0件	1件	2件	0件	3件		
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末		
指標の達成状況		目標以上を達成								
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組				
	管理不全空家について、認定と指導を行った上で、勧告を実施し解消が進んでいる。一方で、解消が進まない空家もある。 相続人不存在の空家2件について、相続財産清算人選任の申立てを実施し、清算人が選任された。					管理不全空家の解消に向けて、空家所有者に対して助言等を行っていく。 清算人の選任に続き、清算人が当該空家の土地を含めた被相続人の全財産の清算に向けて動く。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

2. 住宅

第4章-9 マンション管理アドバイザー派遣事業

担当課： 建築指導課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	アドバイザー派遣				当初予算額		66千円	
	実績	アドバイザー派遣			補正	月			
						月			
						月			
	マンション管理組合の管理者等に対し、管理適正化に必要な助言・指導を行うために専門家であるマンション管理士の派遣を行う。					流充用等			
予算現額						66千円			
決算額						66千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	アドバイザー派遣募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	アドバイザー派遣募集期間		受付開始	⇒	受付終了				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	・マンション管理適正化推進計画を5月1日に公表 ・マンション管理アドバイザー派遣事業募集開始(申請2件)							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	相談者数		値	制度なし	制度なし	制度なし	制度なし	3管理組合	3管理組合
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	アドバイザー派遣の事業目標は達成できたが、マンション管理認定には至らなかった。				引き続き周知・啓発を行い、マンション管理認定につながるよう努める。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

3. 公園・緑地

第4章-10 西八千代地区近隣公園建設事業

担当課： 公園緑地課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	南部近隣公園工事				当初予算額		147,587千円	
	実績	南部近隣公園工事			補正	9月		49,592千円	
						月			
						月			
	西八千代北部特定土地区画整理事業地内における近隣公園の整備。 場所:西部近隣公園 緑が丘西5-211 南部近隣公園 緑が丘西2-202他 面積:西部近隣公園 2.0ha 南部近隣公園 1.7ha					流充用等			
予算現額						197,179千円			
決算額						152,240千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	南部近隣公園整備工事		工事	工事	工事	工事			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	南部近隣公園整備工事		工事	工事	工事	工事	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【南部近隣公園整備工事】 予定額:146,157,000円 契約金額:143,000,000円 契約期間:令和6年6月5日～令和7年2月27日 受託者:㈱船越組 変更契約日:令和7年1月6日 変更契約金額:142,838,300円 支払額:142,838,300円 【南部近隣公園残土処分委託】 予定額:13,530,000円 契約金額:9,401,734円 契約期間:令和6年11月12日～令和7年1月31日 受託者:㈱イマムラ興業 支払額:9,401,734円 【南部近隣公園トイレ設置工事】 予定額:30,855,000円 契約金額:30,690,000円 契約期間:令和7年1月30日～令和7年7月31日 受託者:周郷建設㈱							取組中 (継続)	○
								完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
近隣公園の整備		値	0か所	0か所	1か所	1か所	1か所	2か所	
		時点	令和3年4月1日	令和4年4月1日	令和5年4月1日	令和6年4月1日	令和7年4月1日	令和7年4月1日	
指標の達成状況		目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	近隣公園整備による市民の快適性等の向上				南部近隣公園の整備				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

3. 公園・緑地

第4章-11 県立八千代広域公園整備の促進

担当課： 公園緑地課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	促進				当初予算額	0千円		
	実績	促進			補正	月			
						月			
						月			
	新川両岸の地域に自然環境の保全、多様なレクリエーションニーズへの対応、災害時の避難場所の確保等、安全で快適な環境づくりに資するため、千葉県が進める広域公園整備事業を促進する。					流充用等			
						予算現額	0千円		
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	整備の促進		促進	促進	促進	促進			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	整備の促進		促進	促進	促進	促進			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	広域公園萱田側地権者5名と用地交渉を継続し、うち1名と契約することができた。 広域公園萱田側の基盤整備を引き続き実施中							取組中（継続）	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	県立八千代広域公園の整備率	値	50%	50%	50%	50%	50%	100%	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	県と共に用地交渉を進めた結果、地権者1名の買収が完了した。他の地権者4名については、過去数年間に渡り用地交渉を行っているが、地権者の意向はなかなか変わらないので大きな課題である。				地権者が高齢で用地の管理が大変になってきている背景もあるので、今後も県と協力し、用地交渉を進めていく。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

3. 公園・緑地

第4章-12 勝田市民の森用地取得事業

担当課： 公園緑地課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	用地取得				当初予算額	203,074千円		
	実績	用地取得			補正		月		
							月		
							月		
	市民の森として都市計画決定した土地の取得により市街化区域における緑地保全を図る。 場所:勝田台南2丁目, 勝田地先 公園面積:14,368㎡ 取得予定面積:13,129㎡					流充用等		341千円	
予算現額						203,415千円			
決算額						93,219千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	用地取得			実施					
	交付金申請		申請	決定					
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	用地取得			実施	契約完了				
	交付金申請		申請	決定		交付完了			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	地権者3名(2件)との用地取得契約が完了した。							取組中(継続)	○
	分筆測量 341,000円								
	不動産鑑定 386,100円×2社＝772,200円 404,800円×2社＝809,600円								
用地取得 2685.7㎡×31,000円/㎡＝取得額83,256,700円 339.99㎡×21,000円/㎡＝取得額7,139,790円							完了		
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	勝田市民の森用地取得面積		値	約0.2ha	約0.5ha	約0.7ha	約0.9ha	約0.3ha	約0.9ha
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		やや目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	地権者3名(2件)3,025.69㎡の買収が完了した。 国の交付金にもよるが、次年度も買収を進めていく必要がある。					交付金の配当額が要望より少なく、予定よりも取得面積が減ってしまった。事業はまだ継続されるものなので7年度以降も引き続き買収を進めていく。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

3. 公園・緑地

第4章-13 バラ苗配布事業

担当課： 公園緑地課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	実施				当初予算額	1,712千円		
	実績	実施			補正		月		
							月		
							月		
市内小学校の新生児にバラの苗を配付することにより、市の花「バラ」の啓発を図る。					流充用等				
					予算現額		1,712千円		
					決算額		1,650千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	バラ苗配布		業務開始、業務完了						
	アンケート調査実施				アンケート実施				
	次年度分の契約					契約	⇒		
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	バラ苗配布		業務開始、業務完了						
	アンケート調査実施				アンケート実施				
	次年度分の契約					契約	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【ミニバラ苗配布】 予定額:1,681,900円 契約金額:1,650,000円 契約期間:令和6年2月29日～令和6年4月15日 受託者:京成バラ園芸株 支払済額:1,650,000円							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	市の花「バラ」を知った人		値		280人	533人	1,015人	841人	増加
			時点		令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		概ね目標を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	市の花「バラ」を知った人は年々増加傾向にあるが、令和5年度からは増加しておらず、一定の目標を達成したものと思われると同時に本施策の限界が来ているものと思われる。					バラの認知度向上のみならずバラに愛着を持っていたり必要があると考える。しかしながらアンケートではバラは育成が難しいとの回答も多く、実物のバラにこだわらずバラをモチーフにしたグッズ等も検討し、より気軽に、より身近にバラを意識していただく方向も検討の余地があると考え。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第1節 市街地・住環境の整備

3. 公園・緑地

第4章-14 ゆらゆら橋補修事業

担当課： 公園緑地課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	工事				当初予算額		115,492千円	
	実績	工事			補正	月			
						月			
						月			
	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修を行う。					流充用等			
予算現額						115,492千円			
決算額						97,166千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	ゆらゆら橋整備工事		工事	工事	工事	工事			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	ゆらゆら橋整備工事		工事	工事	工事	工事			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【ゆらゆら橋整備工事】 予定額:168,292,000円 契約金額:132,000,000円 契約期間:令和5年8月26日～令和6年7月31日 受託者:(株)船越組 支払済額:52,800,000円(前払金) 変更契約日:令和6年3月18日 変更契約期間:令和5年8月26日～令和7年1月31日 変更契約金額:137,383,400円 変更契約日(第2回):令和6年9月3日 変更契約金額:149,966,300円							取組中 (継続)	
								完了	○
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
補修工事完了		値		未施工	実施設計完了	工事中	工事完成	工事完成	
		時点		令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	・橋梁全体の塗装の塗替えが完了し、橋梁の健全度が向上した。 ・床版を木板から合成木材に変えたことにより、耐久性が向上した。					今後も定期的な検査によって、安全性・健全度を確保していく。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

1. 総合交通

第4章-15 東葉高速鉄道支援事業

担当課： 企画経営課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	利子補給				当初予算額	7,159千円		
	実績	利子補給			補正		月		
							月		
							月		
	東葉高速鉄道㈱の経営支援の一環として、同鉄道の支援に関する申し合わせに基づき、国及び自治体(千葉県、船橋市、八千代市)による利子補給を行う。 【補助率】 国1/3、沿線自治体2/3					流充用等		320千円	
予算現額						7,479千円			
決算額						7,479千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	利子補給					利子補給			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	利子補給					利子補給			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	交付金額:7,478,772円 交付日:令和7年5月8日							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	利子補給対象債務残高		値	18,786百万円	17,277百万円	15,768百万円	14,258百万円	12,749百万円	12,749百万円
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	東葉高速鉄道㈱が抱える多額の有利子負担により生じる利子負担の一部を軽減することにより、経営の安定に寄与した。 利子補給は令和19年度まで続くが、金額は金利動向の影響を受ける。					急激な利率上昇の際、国による金利負担軽減措置を講じるよう求める。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

1. 総合交通

第4章-16 勝田台駅南口エレベーター設置事業

担当課： 都市計画課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	138,283千円		
	計画	助成(工事)				当初予算額	0千円		
	実績	助成(工事)			補正		月		
							月		
							月		
	現在分断されている南北の往来や、高齢者、障害者等の鉄道を利用した移動等の円滑化の促進を図るため、鉄道事業者が行うエレベーター整備事業(勝田台駅南口エレベーターの設置)に対する助成を行う。					流充用等			
予算現額						138,283千円			
決算額						122,676千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	設置工事			完了					
	補助額確定・交付			補助額確定・交付	補助額確定・交付				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	設置工事			完了					
	補助額確定・交付				補助額確定	交付			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	勝田台駅南口にエレベーター1基、エスカレーター2基(上り、下り)が設置され、令和6年6月28日始発より供用が開始された。また、京成電鉄株式会社から提出された実績報告書を精査の上、交付額を確定し、補助金を交付した。							取組中(継続)	
								完了	○
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	エレベーター設置	値	未設置	未設置	未設置	未設置	設置	設置	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	勝田台駅南口にエレベーター1基、エスカレーター2基(上り、下り)が設置されたことにより、高齢者、障害者等の鉄道を利用した移動の円滑化の促進が図られた。					課題なし。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2. 道路環境

第4章-17 都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業（上高野工区） 担当課： 土木建設課

事業概要	計画	令和6年度 用地取得 設計・工事			計画額	前年度繰越額	34,562千円		
						当初予算額	142,234千円		
	実績	用地取得 設計・工事			補正	6月	0千円		
						3月	-26,225千円		
≪市事業≫ (第1工区) 延長:635m+135m(3・4・9号線) 幅員:20m, 17m (第2工区) 延長:480m 幅員:18～20m					流充用等				
					予算現額		150,571千円		
					決算額		136,646千円		
年間計画	項目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事 1件		契約・工事着手	⇒	⇒	完了			
	用地取得		交渉	⇒	⇒	⇒			
	物件調査・事業計画書作成		委託(繰越明許)	⇒	⇒	⇒			
年間実績	項目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事 1件			契約	⇒	完了			
	用地取得		交渉	⇒	⇒	⇒			
	物件調査・事業計画書作成		委託(繰越明許)	⇒	⇒	完了			
	当年度実績						取組状況	未着手	
	【用地交渉】地権者と交渉中 【不動産鑑定】支出額:1,328,800円 対象:4件, 【物件調査】(R5→R6明許) 繰越額:30,800,000円 対象:1件, 支払金額(R6分):30,800,000円, 完了日:令和7年10月29日 【都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線(上高野第2工区)事業計画図書作成業務委託】(R5→R6明許) 契約日:令和5年11月21日, 繰越額:3,762,000円, 支払金額(R6分):3,762,000円, 完了日:令和7年3月31日 【都市計画道路3・4・1号線(上高野)道路築造工事】 支払金額:58,259,300円, 完了日:令和7年3月18日, 内容:道路築造延長L=160m 【用地費】土地開発基金運用:1件 43,958,366円 土地開発基金からの買戻し:3件 45,960,640円							取組中(継続)	○
								完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
用地取得率(第1工区)		値	73%	73%	82%	83%	83%	94%	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	工場用地を令和7年度に取得する用途をたてることが出来た。 その他用地取得について、一般住宅等用地交渉が難航しているところがある。				引き続き用地交渉を進め、用地取得率の向上に努める。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2. 道路環境

第4章-18 都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業

担当課: 土木建設課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	10,970千円		
	計画	用地取得				当初予算額	20,882千円		
	実績	用地取得			補正	3月	-11,737千円		
						月			
						月			
	《市事業》 (第1工区) 延長:525m 幅員:16～21m (第2工区(予定)) 延長:345m 幅員:16m					流充用等			
予算現額						20,115千円			
決算額						13,184千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	橋梁等設計業務(繰越)		⇒	完了					
	用地取得		交渉	⇒	⇒	⇒			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	橋梁等設計業務(繰越)		⇒	完了					
	用地取得		交渉	⇒	⇒	⇒			
	当 年 度 実 績						取組 状 況	未着手	
	【用地交渉】地権者と交渉中 【都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線不動産鑑定】対象:2件, 支出額:398,200円 【都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線物件調査】対象:1件, 支出額:3,146,000円 【都市計画道路3・4・12号橋梁等詳細設計業務委託】(R5⇒R6繰越分) 支払金額(R7分):9,639,000円, 完了日:令和6年9月18日 内容:都市計画道路3・4・12号が横断する八千代1号幹線部の橋梁等詳細設計 【用地費】対象:1件(第1工区), 土地開発基金運用32,068,426円							取組中 (継続)	○
								完了	
								指標名	
指標	用地取得率(第1工区)		値	94%	94%	94%	94%	94%	100%
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	用地取得について, 用地交渉が難航しているところがある。				引き続き用地交渉を進め, 用地取得率の向上に努める。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2. 道路環境

第4章-19 都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業（県事業）

担当課： 土木建設課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	負担金				当初予算額	0千円		
	実績	負担金			補正	3月	22,777千円		
						月			
						月			
	《県事業》 延長530m 幅員:16m					流充用等			
予算現額						22,777千円			
決算額						12,259千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	負担金				負担金協議	補正・支払い			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	負担金				負担金協議	補正・支払い			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【道路築造】千葉県が事業主体で実施(用地交渉, 工事) 【負担金】12,258,480円 千葉県が道路築造など実施 (【委託】内容:物件調査,【工事】内容:道路工事)							取組中(継続)	○
								完了	
								指標名	
指標	都市計画道路の整備		値	整備中	整備中	整備中	整備中	整備中	整備完了に向けた取組の継続
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		概ね目標を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	一般住宅の他, 集合住宅などがあり, 用地交渉が難航しているところがある。				引き続き, 協定に基づき用地交渉等を行い, 整備完了に向けた取組を進める。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2. 道路環境

第4章-20 道路改良事業

担当課: 土木建設課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	11,099千円		
	計画	工事・委託負担金				当初予算額	51,414千円		
	実績	工事・委託負担金			補正		月		
							月		
							月		
	市が管理する道路について交通空間を確保し市民生活における快適で安全な生活が送れるまちづくりを推進するため、利便性及び安全性の向上を図るため市道の整備を実施する。					流充用等		308千円	
予算現額						62,821千円			
決算額						51,179千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事(2件)			契約・業務着手	⇒	完了			
	修正設計(1件)		契約・業務着手	⇒	⇒	完了			
	予備設計(1件)		契約・業務着手	⇒	⇒	完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事(2件)				契約・業務着手	完了			
	修正設計(1件)		⇒	完了					
	予備設計(1件)		契約・業務着手	⇒	⇒	⇒	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況		
	【勝田台駅南口駅前広場整備修正設計業務委託】(R5⇒R6繰越分) 支払金額8,708,483円, 内容: 駅前広場レイアウト見直しによる修正設計 完了日: 令和6年9月30日							未着手	
	【勝田1号線道路改良工事】 支払金額39,994,900円, 内容: 道路改良延長L=165m 完了日: 令和7年3月18日							取組中 (継続)	○
	【八千代台西51号線局部補修工事】(流用) 支払金額275,000円, 内容: 法面の補修1か所, 完了日: 令和7年1月7日								
	【庁舎村上橋線予備設計業務委託】(R6⇒R7明許) 契約日: 令和6年5月29日, 契約金額: 8,934,695円, 支払金額(前払金): 2,200,000円, 内容: 市道庁舎村上橋線の予備設計, 繰越額: 9,042,000円								
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	市道の改良整備率	値	73.0%	75.1%	75.2%	75.3%	75.5%	73.4%	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	勝田1号線改良工事の実施により道路の拡幅及び排水整備がされたことで通行する市民の満足度の向上に繋がる。 庁舎村上橋線の予備設計が令和7年度へ繰越となったことから、今後実施予定の業務の見直しが発生する可能性がある。					繰越となった業務の工程を精査し、令和7年度以降の計画を再検討し、事業の円滑な完了を目指す。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2. 道路環境

第4章-21 道路補修事業

担当課： 土木維持課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	141,829千円		
	計画	工事委託				当初予算額	485,094千円		
	実績	工事委託			補正	6月	0千円		
						9月	3,113千円		
						3月	-71,215千円		
	人にやさしい安全で安心して利用できる市道の道路機能を確保するため、維持補修を実施する。					流充用等		-4,555千円	
予算現額						554,266千円			
決算額						481,394千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	舗装補修工事21路線		契約 工事発注	工事施工	⇒	工事完了			
	調査業務 4業務			契約, 業務着手	業務実施	業務完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	舗装補修工事21路線		契約 工事発注	工事施工	⇒	工事完了			
	調査業務 4業務			契約, 業務着手	業務実施	業務完了			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【大和田2号線外1路線舗装補修工事】支払金額:59,120,300円,完了日:令和6年6月27日,内容:舗装補修延長748m							取組中 (継続)	○
	【陸2号線外1路線舗装補修工事】支払金額:44,972,400円,完了日:令和6年10月30日,内容:舗装補修延長205m								
	【路面下空洞箇所復旧工事】支払金額:23,783,100円,完了日:令和6年11月27日,内容:市道23箇所の空洞復旧 外11件								
	【交通量調査業務委託】支払金額:2,552,550円,完了日:令和6年10月11日,内容:調査16箇所								
	【路面性状調査業務委託】支払金額:14,247,200円,完了日:令和6年11月29日,内容:調査延長181km 外2件						完了		
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	舗装補修工事実施		値	—	3.0km	5.7km	8.6km	13.5km	14km
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		概ね目標を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	予定した全ての路線の工事を完了させることができたが、県より今後、財源の一部である起債の対象について、一部が対象外となる周知があったことから、代わりの財源の確保が必要となった。				起債対象となくなった一部の路線を交付金対象路線として切り替えるが、例年、交付金の内示率が低いことから一般財源の確保が必要となる。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第2節 総合交通・道路環境の整備

2. 道路環境

第4章-22 橋梁補修事業

担当課： 土木維持課

事業概要		令和6年度				計画額	前年度繰越額	266,893千円	
	計画	工事					当初予算額	213,869千円	
	実績	工事			補正	6月	0千円		
						9月	8,526千円		
						3月	-76,380千円		
	橋梁・横断歩道橋の長寿命化及び耐震化を推進するにあたり、維持管理コストの削減を図りつつ、効率的な整備・維持修繕等を実施する。					流充用等		2,706千円	
予算現額						415,614千円			
決算額						124,175千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	橋梁補修工事			契約 工事発注	完成	⇒	⇒		
	橋梁補修工事(繰越)		⇒	⇒	完成				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	橋梁補修工事			-	-	-	⇒		
	橋梁補修工事(繰越)		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況		
	【村上橋補修工事(通次繰越)】支払額121,347,000円、出来高検査日:令和7年3月27日、内容:耐震補強1脚外							未着手	
	【資材価格等特別調査業務委託(その2)】支払金額:440,000円、完了日:令和6年12月13日、内容:調査項目4品目2カウント							取組中(継続)	
【資材価格等特別調査業務委託(その3)】支払金額:2,388,100円、完了日:令和7年2月28日、内容:調査項目3品目12カウント						完了			
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	補修・耐震化工事の実施	値	—	0橋	橋梁1橋 横断歩道橋2橋	橋梁1橋 横断歩道橋2橋	橋梁1橋 横断歩道橋2橋	橋梁3橋 横断歩道橋2橋	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		やや目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	村上橋補修工事において、河川内にある1脚目の掘削中に発生した湧水対策に時間を要しながらも、1脚目の耐震補強を完成した。残りの2脚目についても早期の完成を目指す。村上橋の遅れに伴い今後予定している新川大橋補修工事においても設計の見直しを余儀なくされている。					村上橋の2脚目の工事に取り掛かるにあたり、橋脚周辺の土質調査を実施し、より最適な施工方法を検討すると共に、新川大橋補修工事においては、河川内の掘削を伴う作業について、土質調査を実施し設計を修正してから発注し、より着実に進められるようにする。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第3節 環境との共生・保全

1. 生活環境

第4章-23 高度処理型浄化槽設置整備事業

担当課： 環境政策課

事業概要		令和6年度				計画額		前年度繰越額		0千円			
	計画	助成						当初予算額		18,079千円			
	実績	助成				補正	3月						
							月						
							月						
	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、既存の単独処理浄化槽及びくみ取便所から高度処理型浄化槽に転換する者に対し、補助金を交付する。						流充用等						
予算現額							13,268千円						
決算額							8,966千円						
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	補助申請受付		補助申請受付開始		補助申請受付		補助申請受付終了						
	申請者浄化槽工事		工事開始		工事		工事		工事終了				
	申請者実績報告提出		実績報告提出開始		実績報告提出		実績報告提出		実績報告提出終了				
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	補助申請受付		補助申請受付開始		補助申請受付		補助申請受付終了						
	申請者浄化槽工事		工事開始		工事		工事		工事終了				
	申請者実績報告提出		実績報告提出開始		実績報告提出		実績報告提出		実績報告提出終了				
	当 年 度 実 績												
	【補助申請受付件数】 N10型(単独転換)・・・5人槽 4基 N10型(くみ取り転換)・・・5人槽 1基 N20型(単独転換)・・・5人槽 4基 合計9基										取組 状 況	未着手	
												取組中 (継続)	○
										完了			
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標				
	生活排水処理率		値	97.2%	97.3%	97.4%	97.6%	97.6%	98.7%				
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末				
指標の達成状況		目標達成困難											
効果検証	当年度実績の効果と課題						課題に対する今後の取組						
	現在、補助対象となる人口は3,000人程度であるものの、補助申請件数が予定基数を下回る傾向にある。						補助制度の啓発は、HP及び広報掲載が中心であるが、広報への掲載方法の工夫や他の周知方法の検討などを行い、引き続き周知徹底を図る。						

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第3節 環境との共生・保全

1. 生活環境

第4章-24 地域猫不妊去勢等手術費用助成事業

担当課： 環境政策課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	助成				当初予算額		335千円	
	実績	助成			補正	月			
						月			
						月			
市民の生活環境の保全を図るために、市に登録のある地域猫活動を行っている団体に対して不妊去勢手術費用の助成を行う。					流充用等				
					予算現額		335千円		
					決算額		335千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	申請受付		受付開始	⇒	⇒	受付終了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	申請受付		受付開始	⇒	⇒	受付終了			
	当 年 度 実 績						取組 状 況	未着手	
	令和6年度末における助成実績 ・不妊手術 21件(負担行為済額210,000円) ・去勢手術 25件(負担行為済額125,000円)							取組中 (継続)	○
完了									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	地域猫の不妊去勢手術実施率	値	67.43%	81.52%	87.94%	90.70%	86.36%	80%	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	助成金交付を予算上限まで実施し、地域猫の不妊去勢手術を促進させた結果、地域猫の不妊去勢手術実施率についても堅調に推移しているが、昨年度は一部の地域で猫の流入があったため、手術実施率が少し下がった。 登録団体が特定の地域に偏り市全体の状況把握にまで至っていないのが課題である。					啓発活動に努め、登録団体を増やして市全体の状況把握に近づけるようにする。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第3節 環境との共生・保全

2. 自然環境

第4章-25 住宅用設備等脱炭素化促進事業

担当課: 環境政策課ゼロカーボンシティ推進室

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	助成				当初予算額	14,900千円		
	実績	助成			補正		月		
							月		
							月		
住宅用設備等を導入する者に対し、八千代市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金を交付する。					流充用等				
					予算現額		14,900千円		
					決算額		12,788千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助申請受付		受付開始	受付	受付	受付終了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助申請受付		受付開始	受付	受付	受付終了			
	当 年 度 実 績						取組状況		
	補助申請受付件数							未着手	
	・家庭用燃料電池システム(エネファーム) 1設備あたり10万円 15件 ・定置用リチウムイオン蓄電システム 1設備あたり7万円 110件 ・窓の断熱改修 補助対象経費の1/4(上限8万円)33件 ・電気自動車 太陽光発電設備、V2H併設 1設備あたり15万円 2件 太陽光発電設備併設 1設備あたり10万円 4件 ・プラグインハイブリッド自動車(太陽光併設) 1設備あたり 10万円 1件 ・V2H充放電設備 補助対象経費の1/10(上限25万円) 5件							取組中 (継続)	○
								完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
設備補助件数		値	108件/年	99件/年	121件/年	187件/年	170件/年	100件/年	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	申請件数の伸びが鈍化し逡減したものの、目標を大きく達成してきており、当初予算を概ね効果的に消化できた。R4年度に住宅用太陽光発電設備の補助を廃止したことにより今後も年間温室効果ガス削減量の目標達成は難しい。					補助事業の案内について、市HP、広報紙、各施設でのチラシ配架、デジタルサイネージの活用の他、単位自治会への補助事業の案内チラシなどにより市民への効率的な情報発信を行い、省エネ設備等の普及促進に努める。			

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第4節 資源循環型社会

1. 一般廃棄物

第4章-26 浸出水処理施設基幹的設備改良事業

担当課: 清掃センター

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	工事				当初予算額	63,305千円		
	実績	工事			補正		月		
							月		
							月		
	最終処分場からの浸出水を適正に処理して河川放流するための浸出水処理施設の維持管理を行うため、施設の長寿命化計画を作成し、改修工事を行う。					流充用等			
予算現額						63,305千円			
決算額						63,250千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事			契約・工事着手	⇒	⇒	⇒		
	施工監理			契約・業務開始	⇒	⇒	⇒		
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	工事			契約・工事着手	⇒	⇒	⇒		
	施工監理			契約・業務開始	⇒	⇒	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況		
	【浸出水処理施設基幹的設備改良工事】 令和6年度工事が完了した。 ・浸出水処理施設基幹的設備改良工事 契約日:令和6年9月27日 出来形検査年月日:令和7年3月26日 支払金額:57,200,000円 ・浸出水処理施設基幹的設備改良工事施工監理業務委託 契約日:令和6年8月 9日 完了年月日:令和7年3月31日 支払金額:6,050,000円							未着手	
								取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	浸出水処理施設の改良工事実施	値	工事未実施	工事未実施	工事未実施	工事未実施	工事未実施	工事着手	工事着手
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	浸出水処理施設基幹的設備改良工事の完成に向けて、令和6年度分の工事を完了させた。				引き続き工事完成に向けて、基幹改良工事を行っていく。				

第4章 快適で環境にやさしいまちづくり

第4節 資源循環型社会

1. 一般廃棄物

第4章-27 粗大ごみ処理施設基幹的設備改良事業

担当課： 清掃センター

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	地域計画策定 長寿命化計画策定				当初予算額	10,736千円		
	実績	地域計画策定 長寿命化計画策定			補正		月		
							月		
							月		
粗大ごみ処理施設は老朽化が著しく施設の長寿命化が必要であり、定期点検で報告されている不具合箇所や定期交換が必要な箇所について計画的に改修工事を行うため、大規模長寿命化工事に必要な計画の策定を行う。					流充用等				
					予算現額		10,736千円		
					決算額		8,679千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	地域計画策定		契約・業務開始	⇒	計画策定・県提出	県対応・業務完了			
	長寿命化計画策定		契約・業務開始	⇒	⇒	計画策定・業務完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	地域計画策定		契約・業務開始	⇒	地域計画策定・県提出	県対応・業務完了			
	長寿命化計画策定		契約・業務開始	⇒	⇒	計画策定・業務完了			
	当 年 度 実 績						取組 状況		
	契約年月日 : 令和6年4月25日 地域計画策定 : 令和6年10月 長寿命化総合計画策定 : 令和7年3月 完了年月日 : 令和7年3月27日 支払金額 : 8,679,000円							未着手	
								取組中 (継続)	○
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	長寿命化計画策定		値	—	未策定	未策定	未策定	策定	策定
			時点	—	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	粗大ごみ処理施設基幹的設備改良事業の完了に向けて、地域計画と長寿命化総合計画を策定した。					粗大ごみ処理施設基幹的改良事業の完了に向けて、令和7年度は発注仕様書の作成を行い、令和8年から令和10年にかけて基幹的改良工事を実施していく。			

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

1. 農業振興

第5章-1 防災道の駅やちよ整備事業

担当課: 農政課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	実施設計				当初予算額	95,183千円		
	実績	実施設計			補正		月		
							月		
							月		
八千代ふるさとステーションのリニューアルを中心とした施設の整備を行う。					流充用等				
					予算現額		95,183千円		
					決算額		0千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	実施設計		契約	検討	検討	検討・完了			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	実施設計			契約	検討	検討	⇒		
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【防災道の駅やちよ整備事業(道の駅やちよ・八千代ふるさとステーションリニューアル整備)実施設計業務委託】							取組中(継続)	○
	・契約金額:原契約76,340,000円, 変更契約により3,058,000円増額							完了	
・内容:八千代ふるさとステーションのリニューアルを中心とした施設整備に関する実施設計一式									
・履行期間:令和6年7月27日から令和7年3月31日まで (業務が完了しなかったため、次年度に繰越。履行期間を令和7年5月30日までとした。)									
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	実施設計の完了	値			未完了	未完了	未完了	完了	
		時点			令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	実施設計業務は、業務に遅れが生じ、年度内に完了させることができなかったが、延長期間を2か月(令和7年5月末まで)に留め、令和7・8年に実施予定としている工事の計画に影響を及ぼさないようにすることができた。					令和7年度において、実施設計業務を予定とおり5月末で完了させ、工事の計画に影響がないように進めていきたい。			

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

2. 農地保全

第5章-2 農業振興地域整備計画策定事業

担当課： 農政課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	1,364千円		
	計画	計画改定				当初予算額	2,530千円		
	実績	計画改定			補正		月		
							月		
							月		
	農業振興地域整備計画の改定を行う。					流充用等			
予算現額						3,894千円			
決算額						3,473千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	県との下協議		県との下協議						
	県との事前協議			県との事前協議					
	県との変更協議				県との変更協議				
	計画改定					計画改定			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	県との下協議		県との下協議						
	県との事前協議			県との事前協議					
	県との変更協議				県との変更協議				
	計画改定					計画改定			
	当 年 度 実 績						取組状況		
	・整備計画の変更同意権者である千葉県知事との協議に先立ち、整備計画変更案に係る下協議を完了した。 ・下協議の結果を踏まえ、整備計画変更案に係る事前協議を実施。 ・県との事前協議及び県との変更協議完了 ・計画改定済み							未着手	
								取組中（継続）	
								完了	○
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
計画の改定		値	未策定	未策定	未策定	未策定	改定	改定	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	農用地区域の誤差修正を行うことができた。登記情報との突合が最新のデータとできていないことが課題である。					次回全体見直しの際には、最新の登記情報との突合を目指す。			

第5章 産業が元気なまちづくり

第1節 農業

2. 農地保全

第5章-3 水田再基盤整備事業

担当課： 農政課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	負担金				当初予算額		0千円	
	実績	負担金			補正	3月		11,337千円	
						月			
						月			
	将来にわたって保全すべき農地を水田再基盤整備事業として整備する。					流充用等			
予算現額						11,337千円			
決算額						11,337千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	桑納川地区土地改良事業		協議調整等	協議調整等	協議調整等	協議調整等			
	負担金					3月補正・支出			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	桑納川地区土地改良事業		協議調整等	協議調整等	協議調整等	協議調整等			
	負担金					3月補正・支出			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【県営桑納川地区土地改良事業(区画整理)】 事業計画の変更等のために、千葉県や土地改良区等と協議・調整等を行った。							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	事業費進捗率		値	4.6%	7.2%	9.8%	12.1%	24.6%	100%
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	受益地や事業費や事業期間等に変更が生じたことに伴う、県の事業計画変更のために千葉県や土地改良区等と協議・調整等を行った。県事業費については市負担分の支出手続きを行った。なお、県では工事発注の入札が価格高騰等により2回不調となり、事業に遅れが生じている。					県の工事の遅れについては、市が主体的に早めることが困難なため、それ以外の営農等に関する打ち合わせの場を積極的に設け、関係機関相互の認識をすり合わせていく必要がある。			

第5章 産業が元気なまちづくり

第2節 商工業

1. 商業

第5章-4 創業支援事業

担当課: 商工観光課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	助成				当初予算額	804千円		
	実績	助成			補正		月		
							月		
							月		
	創業支援等事業計画に基づき、八千代商工会議所等と連携して創業を支援する。 ○創業支援資金借入に対する利子補給 ○創業相談窓口の開設、各支援機関への誘導 ○近隣の創業支援機関との共催によるセミナー等支援事業の開催 ○支援事業受講者への受講認定					流充用等			
予算現額						804千円			
決算額						578千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	利子補給金		申込受付	⇒	⇒	利子補給金交付			
	セミナー開催		開催	⇒		開催			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	利子補給金		申込受付	⇒	⇒	利子補給金交付			
	セミナー開催		開催	⇒		開催			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【八千代市創業支援資金利子補給金】 新規申込件数:13件 新規融資額:3,535万円 利子補給金交付決定件数:32件 利子補給金交付決定金額:578,702円							取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	年間創業支援者数	値	176人/年	225人/年	227人/年	158人/年	147人/年	252人/年	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	一部のセミナーで内容や開催方法を変更したことにより、創業支援者数が減少したが、創業者数は目標以上を達成している。				引き続き、創業支援機関と連携して効果的な開催方法及び周知方法を模索し、創業者の増加を図る。				

計画の推進のために

1.市民にわかりやすいまちづくりの推進

(2)市民参画体制の充実

計画の推進-1 新たな市民参画制度創設事業

担当課: コミュニティ推進課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円				
	計画	実施				当初予算額		0千円				
	実績	実施			補正	月						
						月						
						月						
市民参画において、参加者数や参加者層の偏りや固定化といった課題があることから、幅広く、より多くの市民の参加が得られ、より効果的に市民の意見を取り入れることができるよう、新たな仕組みを創設する。					流充用等							
					予算現額		0千円					
					決算額		0千円					
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度	
	新たな市民参画制度の運用		運用		運用		運用		運用			
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度	
	新たな市民参画制度の運用		運用		運用		運用		運用			
	当 年 度 実 績											
	令和6年度末現在で公募委員候補者名簿に101名が登録された。当年度実績としては、新規登録受付7名、廃止1名となっており、各部署からの名簿提供依頼に基づき、公募委員候補者名簿を提供している。										取組状況	未着手
										取組中(継続)		
										完了		○
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標			
	新たな市民参画制度実施回数	値	0回	1回	1回	1回	1回	1回	2回			
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末				
	指標の達成状況		目標以上を達成									
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組						
	公募委員候補者名簿の活用により、10審議会で新たな市民委員が選考された。できるだけ多くの登録者に、市民委員として審議会等に参加できる機会を提供していく必要がある。					引き続き、各種審議会等の委員改選時等において名簿提供を行うとともに、登用される市民委員が偏ってしまうということのないよう、市民委員の登用状況を把握していく。						

計画の推進のために

2.地域の視点に立ったまちづくりの推進

(1)コミュニティ活動の推進

計画の推進-2 地域コミュニティ推進講座開催事業

担当課: コミュニティ推進課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円		
	計画	講座開催				当初予算額		263千円		
	実績	講座開催			補正	月				
						月				
						月				
地域コミュニティ推進講座を開催し、講座を通じて地域住民と課題等を共有する中、将来のまちづくりのリーダーとなりうる人材発掘に繋げる。					流充用等					
					予算現額		263千円			
					決算額		26千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	協働に関する庁内講座		検討	検討	検討	検討				
	市民活動団体向け講座				開催					
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度			
	協働に関する庁内講座		検討	検討	検討	検討				
	市民活動団体向け講座					開催				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手		
	・県が主催の協働のまちづくりセミナーに職員が出席。 ・ボランティア・市民活動推進センターを運営する八千代市社会福祉協議会に対し、市は補助金を交付。当該センター主催にて、令和7年3月30日(土)に市民活動推進講座を開催。							取組中(継続)	○	
								完了		
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
		講座参加者数		値	10人/年	35人/年	0人/年	43人/年	25人/年	70人/年
時点				令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		やや目標達成困難								
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組					
	庁内講座は、説得力の面等を考慮すると、大学教授等の講師を招聘し、効果が高い講座にする必要があるとの見解には至っている。 市民活動団体向け講座は八千代市ボランティア・市民活動推進センター主催にて講座を開催したところであり、今後も開催を継続していく。				庁内講座は、今後施策を推進していく中で、必要に応じて開催を検討していくこととする。 市民活動団体向け講座は、今後も継続して開催出来るよう八千代市社会福祉協議会と調整を図っていく。					

計画の推進のために

2.地域の視点に立ったまちづくりの推進

(1)コミュニティ活動の推進

計画の推進-3 地域担当職員制度事業

担当課: コミュニティ推進課

事業概要		令和6年度				計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	検討					当初予算額		0千円	
	実績	検討				補正	月			
							月			
							月			
	職員が地域へ積極的に出向き、地域住民と一緒に、生活に身近な課題の解決や各地域の活性化等について話し合い、共に行動する仕組みについて検討する。						流充用等			
予算現額							0千円			
決算額							0千円			
年間計画	項 目			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	地域担当制度の導入			検討	検討	検討	検討			
年間実績	項 目			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	地域担当制度の導入			検討	検討	検討	検討			
	当 年 度 実 績							取組状況		
	地域課題の意見交換の場である市政懇談会と地域担当職員制度との仕組みの差を整理し、事業の必要性を検討するため、市政懇談会に出席。								未着手	
									取組中（継続）	
指標	指標名				R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	地域の会議に出席する回数			値	0回/年	0回/年	0回/年	0回/年	0回/年	7回/年
				時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組				
	新たに実施していくべき事業が再考した結果、地域担当職員制度を導入し、上手く機能している市と同様の制度を導入することは、他市における導入時の歴史的な背景が違うことから、困難であるとの見解に至った。					今後も市政懇談会を通じて、地域の意見を聴取していく。また、地域との意見交換の場に市職員を派遣してもらいたいといったことがあれば、その場に適した担当課との調整を行っていく。				

計画の推進のために

2.地域の視点に立ったまちづくりの推進

(1)コミュニティ活動の推進

計画の推進-4 旧八千代台東第二小学校跡地整備事業

担当課： 企画経営課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	管理運営支援 二次整備検討				当初予算額		2,748千円	
	実績	管理運営支援 二次整備検討			補正	月		0千円	
						月			
						月			
旧八千代台東第二小学校跡地を多様な世代・多様な利用者が満足できる空間として整備する。地域の認可地縁団体を中心に地域組織による運営管理の協議・検討を進める。					流充用等				
					予算現額		2,748千円		
					決算額		2,533千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	管理運営支援		実施	⇒	⇒	⇒			
	二次整備検討		検討	⇒	⇒	⇒			
	未利用地等草刈り実施		実施	⇒	⇒	⇒			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	管理運営支援		実施	⇒	⇒	⇒			
	二次整備検討		検討	⇒	⇒	⇒			
	未利用地等草刈り実施		実施	⇒	⇒	⇒			
	当 年 度 実 績						取組 状 況	未着手	
	「一般社団法人にあとびあ」による愛称「やちよだい東ニマイル広場」の管理運営支援を行った。							取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	地域組織による自立した施設運営管理	値	法人未設立	法人未設立	法人設立	自立した運営管理	自立した運営管理	自立した運営管理	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年10月	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	「一般社団法人にあとびあ」による自立した施設運営が行えた。今後は、同法人の特性を活かした取組や継続性のある組織運営が期待される。				法人とともにニマイル広場の管理運営を行い、同広場に関する情報を積極的に発信し、利用促進を図る。				

計画の推進のために

3.多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

(2)多文化共生社会の推進

計画の推進-5 多言語防災・生活情報配信事業

担当課: シティプロモーション課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	実施				当初予算額		132千円	
	実績	実施			補正	月			
						月			
						月			
	日本語が不自由な外国人住民に多言語(ベトナム語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・英語・中国語)及びやさしい日本語による防災・生活情報の提供を行う。					流充用等			
予算現額						132千円			
決算額						132千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	多言語自動翻訳オプション		実施	実施	実施	実施			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	多言語自動翻訳オプション		実施	実施	実施	実施			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	やちよ情報メール配信サービスの多言語自動翻訳オプション利用料 契約金額:月額11,000円(税込),支払方法:年2回払い(半年ごと) 3月末時点で248人が本システムに登録している。							取組中(継続)	
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	登録者数		値	308人	322人	331人	260人	248人	500人
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和5年2月末	令和6年3月末	令和7年3月末	令和6年度末
	指標の達成状況		やや目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	本メールシステムの登録者は微減している。新たに本市へ定住する外国人の方々に登録してもらえるような体制の構築が必要である。					やちよ情報メール(多言語)の案内の配布を継続する(支所,戸籍住民課,多文化交流センター,日本語教室等)とともに,新たな情報発信ツールの導入を検討する。			

計画の推進のために

3.多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

(4)シティプロモーション・観光の推進

計画の推進-6 地域間連携推進事業

担当課： 商工観光課観光推進室

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		0千円	
	計画	推進				当初予算額		10千円	
	実績	推進			補正	月			
						月			
						月			
	近隣自治体が保有する観光資源と市の花「バラ」や新川千本桜などの観光資源を組み合わせ、観光振興の相乗効果を図る。					流充用等			
予算現額						10千円			
決算額						10千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	総会		参加						
	地域部会		参加						
	商談会				参加				
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	総会		不参加						
	地域部会		参加						
	商談会				不参加				
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【ちばプロモーション協議会】 6月20日：令和6年度 第1回ベイエリア地域部会への参加							取組中（継続）	○
								完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
ちばプロモーション協議会への参加		値	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	1回/年	3回/年	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		やや目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	ちばプロモーション協議会地域部会に参加することができた。観光入込客数については、第50回の節目を迎えた八千代ふるさと親子祭が開催されたため、昨年よりは増加しているが、目標値まで差があるので近づけられるかが課題である。				八千代市観光協会や八千代商工会議所等の外部団体と連携し、引き続き積極的に情報発信等を行う。				

計画の推進のために

3.多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

(4)シティプロモーション・観光の推進

計画の推進-7 観光資源活用・情報発信事業

担当課： 商工観光課観光推進室

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	実施				当初予算額	663千円		
	実績	実施			補正		月		
							月		
							月		
市内にある観光資源の活用方法を八千代市観光協会等の外部団体と協議、検討するとともに、それらの観光資源を観光ガイドアプリやSNSなどの多様な媒体を用い情報発信することで、本市の認知度やイメージの向上を図り、本市への交流人口の拡大に努める。					流充用等				
					予算現額		663千円		
					決算額		662千円		
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	ココシルやちよ運用		実施	実施	実施	実施			
	ドローン撮影		実施検討	実施検討	実施検討	実施検討			
	イベント司会業務委託					実施			
	イベント等への参加		実施	実施	実施	実施			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	ココシルやちよ運用		実施	実施	実施	実施			
	ドローン撮影		実施検討	実施検討	実施検討	実施検討			
	イベント司会業務委託					実施			
	イベント等への参加		実施	実施	実施	実施			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【ココシルやちよ運用事業】 ・ココシルやちよの運用及び周知 【イベント等への参加】 ・各種イベントへの参加(源右衛門祭、八千代ゆりのき台つつじ祭り、緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ、東葉車両基地まつり、エボラ祭り、八千代どんと祭) 【やっちノベルティ】169,070円 【八千代デジタル観光ガイドブック運用・保守業務委託】462,000円 【イベント司会業務委託】30,800円							取組中(継続)	○
								完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
「ココシルやちよ」のアクセス数		値	69,541件/年	69,945件/年	80,187件/年	99,831件/年	86,870件/年	76,495件/年	
		時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	「ココシルやちよ」のアクセス数については、昨年度実績から件数が減少してしまいましたが、昨年度と同様に目標以上を達成した。				八千代市観光協会や八千代商工会議所等の外部団体と連携し、引き続き積極的に情報発信等を行う。				

計画の推進のために

3.多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信

(4)シティプロモーション・観光の推進

計画の推進-8 シティプロモーション事業

担当課: シティプロモーション課

事業概要		令和6年度				計画額	前年度繰越額		0千円				
	計画	実施						当初予算額		5,165千円			
	実績	実施				補正	月						
							月						
							月						
本市が有する豊かな自然環境や魅力ある施設等の地域資源等を活用した市の魅力の創造に努めるとともに、市内外への市の魅力の発信に取り組む。 若い世代を対象とした、ライフステージを応援する事業を検討する。						流充用等							
						予算現額		5,165千円					
						決算額		4,790千円					
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	SNSによる情報発信		実施		実施		実施		実施				
	キャッチコピー等の制作		実施		実施		実施						
年間実績	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	SNSによる情報発信		実施		実施		実施		実施				
	キャッチコピー等の制作		実施		実施		実施						
	当 年 度 実 績												
	【SNSによる情報発信件数】 Facebook「千代に八千代に続くまち」:104件、LINE「八千代市」LINEVOOM:103件、X(旧Twitter)「やっち(official)」:184件、Instagram「yachiyo_city_official」:89件 【キャッチコピー及びロゴマークの制作】 制作業務を実施する事業者をプロポーザル方式にて選定し、制作した3案について市民投票を行い、「ほどよし。やちよし。」に決定した。 契約金額:4,642,550円、商標登録手数料:147,200円										取組 状況	未着手	
												取組中 (継続)	○
										完了			
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標				
	SNSによる情報発信数		値	584回/年	708回/年	627回/年	485回/年	480回/年	700回/年				
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末				
指標の達成状況		目標達成困難											
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組							
	・SNSによる情報発信を幅広く行い、市内外に対し魅力情報を発信した。 ・制作したキャッチコピー等については、市ホームページや広報紙、各種計画の印刷物など、さまざまな場面での全庁的な活用をすることで、より多くの方々の目に留まるとともに、市民の市への愛着・誇りを醸成する。					・SNSによる情報発信においては、より効果的な発信手法を導入し、更なるフォロワーの獲得を目指す。 ・キャッチコピー等については、市内外のイベント等で配布できるよう、キャッチコピー等が印刷された市の魅力を伝える広告物の制作についても検討を進めていきたい。							

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(1)効率的な行政運営の確立

計画の推進-9 文書管理システム導入事業

担当課: 総務課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	導入				当初予算額	36,190千円		
	実績	導入			補正		月		
							月		
							月		
	業務の効率化及びペーパーレス化を図るため、公文書の作成から保存、廃棄、移管までを一貫して電子的に管理する文書管理システムを導入する。					流充用等			
予算現額						36,190千円			
決算額						24,343千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	文書管理システム導入委託		契約	システム開発	⇒	導入			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	文書管理システム導入委託			契約・システム開発	⇒	導入			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	【文書管理システム導入・管理業務委託】令和6年度～令和12年度 令和6年6月 公募型プロポーザルの実施 令和6年7月 契約締結(委託先:株式会社内田洋行 契約金額:61,451,500円)							取組中(継続)	
								完了	○
指標名									R2年度実績
指標	文書管理システムの運用開始	値					運用開始	運用開始	
		時点					令和7年4月1日	令和7年4月1日	
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	令和7年4月1日に文書管理システムの運用を開始し、事務の効率化及びペーパーレス化を図った。				課題なし				

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(1)効率的な行政運営の確立

計画の推進-10 行政組織の見直し 担当課： 総務課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	実施 検討				当初予算額	0千円		
	実績	実施 検討			補正	月			
						月			
						月			
	施策・事業を効果的かつ効率的に推進するため、部・課・室・班・担当などの組織のフレームの見直しを行う。併せて、事務分掌の見直しを行う。					流充用等			
予算現額						0千円			
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	組織の見直しに係る調査		実施						
	研究会・検討委員会		開催	開催・決定					
	庁議			決定					
	例規改正・レイアウト変更					実施			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	組織の見直しに係る調査		実施						
	研究会・検討委員会		開催	開催・決定					
	庁議					決定			
	例規改正・レイアウト変更					実施			
	当 年 度 実 績						取組 状況		
	法改正等により対応を求められている項目及び社会情勢の変化により早急な対応を求められている項目に的を絞った組織の見直しをすることとし、各部局への意見照会及び見直し案のヒアリングを行い、行政組織検討委員会及び組織機構研究会を開催し、検討を行った。子育て支援課に子ども政策班を設置し、企画班を幼保施設・監査班に変更した。また、上水道課の建設班と維持班を管路工務班に統合した。							未着手	
								取組中 (継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	行政組織の見直し	値							
		時点							
	指標の達成状況								
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	各部局への調査等から様々な検討事項が挙げられたが、方針に基づき、的を絞った組織の見直しを行った。検討継続とした事項については、引き続き検討を進める。					新庁舎の供用開始時の組織のあり方も視野に入れながら検討を進める。			

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(1)効率的な行政運営の確立

計画の推進-11 行政評価推進事業

担当課： 企画経営課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	試行				当初予算額	0千円		
	実績	試行			補正	月			
						月			
						月			
	行政評価制度を構築し、施策等の評価を実施する。					流充用等			
						予算現額		0千円	
決算額						0千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	評価手法の検討		検討	検討	検討	検討			
	評価試行		準備	準備	実施	報告			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	評価手法の検討		検討	検討	検討	検討			
	評価試行		準備	準備	準備	準備			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	評価制度の検討を進めた。							取組中(継続)	○
								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	改善事業数	値	-	-	-	-	-	-	評価対象事業総数の4割
		時点	-	-	-	-	-	-	
	指標の達成状況		目標達成困難						
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	これまでの行政評価制度の課題等を踏まえ、新たな行政評価制度の確立に向け庁内合意形成を図り、「(仮称)重要事業評価」の試行をすることの方針決定がされた。					新たな評価手法による評価を試行し、効果的かつ効率的な行政運営の推進のための行政評価制度の確立に向けて引き続き検討する。			

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(3)公共施設等の一体的なマネジメントの推進

計画の推進-12 庁舎建設事業

担当課： 庁舎総合整備課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額		1千円		
	計画	実施設計 駐車場整備工事				当初予算額		1,984,712千円		
	実績	実施設計 駐車場整備工事			補正	12	月	44千円		
						3	月	-3,355千円		
						3	月	-1,646,803千円		
	市役所旧館・新館を建替える。					流充用等		357千円		
予算現額						334,956千円				
決算額						334,956千円				
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		次年度		
	新庁舎建設		実施設計	実施設計	実施設計	実施設計策定				
	上下水道局跡地駐車場整備		工事完成							
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		次年度		
	新庁舎建設		実施設計	実施設計	実施設計	実施設計策定				
	上下水道局跡地駐車場整備			工事完成						
	当 年 度 実 績							取組 状況		
	【八千代市上下水道局庁舎跡地駐車場整備工事】支払金額:27,170,000円 完了日:令和6年7月26日 内容:八千代市上下水道局庁舎跡地の駐車場整備工事。								未着手	
	【上下水道局庁舎跡地囑託登記業務委託】支払金額:2,024,000円 完了日:令和6年8月30日 内容:上下水道局跡地の囑託登記業務を委託する。								取組中 (継続)	○
	【八千代市新庁舎建設工事実施設計業務委託】支払金額:303,600,000円 完了日:令和7年3月31日 内容:新庁舎の実施設計業務を委託する。								完了	
指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標	
	実施設計の完了		値	未着手	未着手	未着手	着手	設計完了	設計完了	
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和6年3月4日	令和6年度末	令和6年度末	
	指標の達成状況		目標以上を達成							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組				
	令和7年度着工予定の新庁舎建設工事に向け実施設計を行った。					課題なし				

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(4)スマート自治体の推進

計画の推進-13 行政手続のオンライン化推進事業（51手続）

担当課： 情報政策課

事業概要		令和6年度				計画額	前年度繰越額		0千円				
	計画	準備運用					当初予算額		2,527千円				
	実績	準備運用				補正	月						
							月						
							月						
「27手続以外の手続のオンライン化」の方針に基づき、対象とした行政手続(51手続)のオンライン化を推進する。					流充用等								
					予算現額		2,527千円						
					決算額		2,495千円						
年間計画	項 目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	オンライン化に関する調査		オンライン化状況調査		オンライン化意向調査				補助額確定・交付				
	補助金申請		補助金申請・交付決定										
	電子申請サービス機能拡充		契約・構築		構築・リリース								
	オンライン決済導入		契約		構築・リリース								
年間実績	項目		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		次年度		
	オンライン化に関する調査		オンライン化状況調査		オンライン化状況調査								
	補助金申請		交付決定						補助額確定・交付				
	電子申請サービス機能拡充		契約・構築		構築・リリース								
	オンライン決済導入		関係課と調整		関係課と調整				契約・構築・リリース				
	当 年 度 実 績												
	令和6年4月にオンライン化の進捗状況を把握するため調査を実施し、オンライン化未完了の手続については、情報政策課職員が作業を補助しながら、手続のオンライン化を推進した。また、LINE公式アカウント機能拡張ツール「KANAMETO」の導入により、令和6年9月に市LINE公式アカウントリニューアルし、市公式アカウントからちば電子申請サービスへ接続可能とするとともに、ちば電子申請サービスのLINE連携機能導入により、ちば電子申請サービスとLINEアカウントの連携を実現した。更に、令和7年3月には、ちば電子申請サービス上でのオンライン決済サービス機能を導入し、手数料等が必要な手続もオンライン申請が可能となった。										取組状況	未着手	
												取組中(継続)	○
												完了	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標			
51手続のオンライン化		値			24手続	41手続	48手続	51手続					
		時点			令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末					
指標の達成状況			概ね目標を達成										
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組							
	市LINE公式アカウントのリニューアルにより、電子申請がより市民にとって身近になった一方で、オンライン申請できる手続数はまだ拡張できる余地がある。					オンライン手続数の増加には、手続所管課職員のちば電子申請サービスの操作方法習得が必須である。そのため、オンライン化対象手続を所管する所属の職員は、ちば電子申請サービスの操作研修への参加や研修動画の視聴を必須とすることも検討していきたい。							

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(4)スマート自治体の推進

計画の推進-14 施設使用料等キャッシュレス決済導入事業

担当課: 情報政策課

事業概要	計画	令和6年度 運用 利用手続拡充			計画額	前年度繰越額	0千円	
						当初予算額	511千円	
	実績	運用 利用手続拡充			補正	月		
						月		
						月		
年間計画	項目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度	
	運用管理		運用管理	運用管理	運用管理	運用管理		
	利用手続拡充			意向調査	精査及び決定	指定受託納付者と調整		
年間実績	項目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度	
	運用管理		運用管理	運用管理	運用管理	運用管理		
	利用手続拡充			意向調査	精査及び決定	指定受託納付者と調整		
指標	指標名		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	目標
	手続総件数に対するPayPay等利用割合	値				7%	10%	10%
		時点				令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成					
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組			
	令和6年度には約3万7千件の利用実績があり、市民サービスの向上に寄与できたと考えられる。課題としては、キャッシュレス使用率が46%を超える施設がある一方で、使用率が低い施設もあるため、全体の利用率向上を図る余地があると考え。				キャッシュレス使用率の向上を図るための施策及びキャッシュレスが使用可能な事業の追加についての検討を今後も継続する。			

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(4)スマート自治体の推進

計画の推進-15 統合型GIS導入事業

担当課: 情報政策課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	調達・導入				当初予算額	15,876千円		
	実績	調達・導入			補正	月	0千円		
						月			
						月			
	行政運営のスマート化や住民の利便性向上を図るため、地図データや行政情報の横断的利活用が可能な共通プラットフォームを有し、各種レイヤの共用が可能な統合型GISを導入する。					流充用等		508千円	
予算現額						16,384千円			
決算額						14,374千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	仕様書作成		仕様書作成						
	事業者選定・契約締結		事業者選定・契約締結						
	システム構築			システム構築	システム構築				
	システム運用					システム運用			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	仕様書作成		仕様書作成						
	事業者選定・契約締結		事業者選定・契約締結						
	システム構築			システム構築	システム構築	システム構築			
	システム運用					システム運用			
	当 年 度 実 績						取組状況		
	令和6年5月に指名競争入札にて受託事業者を決定。 令和6年6月より統合型GIS(道路台帳管理)及び公開型GIS環境構築に着手し、令和7年3月に運用を開始した。【行政情報システム管理事業】							未着手	
								取組中(継続)	
	指標	指標名			R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
公開型GISの公開レイヤ数		値					1レイヤ	3レイヤ	
		時点					令和6年度末	令和6年度末	
指標の達成状況		目標達成困難							
効果検証	当年度実績の効果と課題					課題に対する今後の取組			
	・全庁GIS基盤に統合する業務数については、道路台帳業務の導入を機に、庁内個別GISの一部を統合することを目指していたが、想定以上に環境及びシステム構築に時間を要してしまったことから実現できなかった。 ・公開型GISの公開レイヤ数については、道路台帳平面図に加え、都市計画図及び航空写真の搭載を目指していたが、システム環境構築等に時間がかかってしまったため、実装できなかった。					・全庁GIS基盤に統合する業務については、既に実装済みの個別GISの所管部署との調整・協議を行い、令和7年度以降随時統合していく予定である。 ・公開型GISの公開レイヤ数については、都市計画図及び航空写真を令和7年度中に搭載する予定である。 その他の地図情報についても、所管部署と調整・協議のうえ令和8年度以降に随時公開する予定である。			

計画の推進のために

4.持続可能な行政経営の確立

(4)スマート自治体の推進

計画の推進-16 情報システム標準化事業

担当課: 情報政策課

事業概要		令和6年度			計画額	前年度繰越額	0千円		
	計画	移行				当初予算額	181,152千円		
	実績	移行			補正		月		
							月		
							月		
	現在、政府が進める自治体情報システムの標準化を進め、市職員の業務効率の向上及び市民の利便性向上を図る。 ・基幹情報システム ・福祉系情報システム ・戸籍情報システム ・選挙システム					流充用等			
予算現額						181,152千円			
決算額						74,404千円			
年間計画	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助金申請		補助金申請・交付決定	補助金申請・交付決定	補助金申請・交付決定	補助金申請・交付決定			
	契約		委託契約	委託契約	委託契約	委託契約			
年間実績	項 目		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	次年度		
	補助金申請			補助金申請	交付決定				
	契約				委託契約	委託契約			
	当 年 度 実 績						取組状況	未着手	
	・基幹情報システム等標準化移行作業(12業務)について、実施スケジュール調整及び補助金交付申請を実施した。 ・移行困難となったシステムについて国の動向等に留意するとともに情報収集を行い、方向性の検討・協議を実施した。							取組中(継続)	○
								完了	
指標名									R2年度実績
指標	標準仕様システム構築の着手		値	未着手	未着手	未着手	未着手	着手	着手
			時点	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和6年度末
	指標の達成状況		目標以上を達成						
効果検証	当年度実績の効果と課題				課題に対する今後の取組				
	令和6年度は目標達成に向け順調に推移している。課題としては令和7年度にシステム構築一部の運用開始を予定している為、ベンダー及び各課と調整が必要となる。また、令和8年度に全てのシステムについて構築を終え、運用開始する予定であるため、計画的に業務を遂行する必要がある。				令和7年度にシステム構築一部の運用開始を予定しているため、ベンダー及び各課と調整を行っていく。また、令和8年度にシステム構築全ての運用開始する予定であるため、予算等の確保を実施する。				

7 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と第5次総合計画前期基本計画・前期実施計画(令和6年度版)との関連

第2期総合戦略	関連する第5次総合計画前期基本計画の施策				No	具体的な取組 (第5次総合計画前期実施計画)	重要業績評価指標(KPI) (実施計画事業の指標)	基準値 R2年度	年度別実績					目標
	柱	施策							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
基本目標1 【施策体系】 (1)結婚,妊娠・出産,子育てのライフステージに応じた支援 (2)働きながら子育てしやすい環境づくり (3)これからの社会をたくましく生き抜く子どもの育成	1章	1	1	1	多様な保育ニーズへの対応	第1章-1	民間保育園等施設整備助成事業	新規整備施設数	0施設	0施設	7施設	4施設	3施設	4施設
						第1章-2	こども送迎センター整備事業	小規模保育事業所卒園児の受入可能数			0人	20人	20人	120人
		1	1	2	子どもを育む教育・保育	第1章-4	幼稚園教諭処遇改善事業	常勤幼稚園教諭平均勤続年数	7.8年	8.3年	9.3年	8.9年	9.1年	9.0年
						1	2	1	切れ目のない子ども・子育て支援の充実	第1章-4	こども計画策定事業	計画の策定		
		第1章-5	産後ケア事業	利用により安心して育児ができたと思う人の割合	100%					100%	98.2%	100%	96.6%	100%
		第1章-6	骨髄移植等を原因とする予防接種再接種費助成事業	再接種完了人数						0人	1人	1人	0人	3人
		1	2	2	子どもの健やかな成長の促進	第1章-7	学童保育所整備事業	学童保育所定員数	1,750人	1,795人	1,985人	2,230人	2,325人	2,165人
						第1章-8	放課後子ども教室推進事業	放課後子ども教室登録児童数	333人	691人	801人	684人	974人	3,376人
		1	2	3	子育て家庭の経済的負担の軽減	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1	3	1	児童虐待の防止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	1	3	2	ひとり親家庭への支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	2章	1	1	1	安心・安全な教育環境の整備	第2章-1	西八千代地区児童生徒増対策事業	新設小学校の詳細設計の完了及び中学校の対応・方針決定			未完了	未完了	未完了	完了
						第2章-2	みどりが丘小学校分離新設校建設事業	設計完了					設計完了	設計完了
						第2章-3	小・中学校施設整備事業	校舎・体育館のトイレ乾式化率	64%	70%	70%	71%	72%	75%
		1	1	2	教育内容の充実	第2章-4	外国語指導助手派遣事業	ALT派遣人数	12人	12人	12人	14人	14人	14人
						第2章-5	コンピュータ教育事業	タブレット端末を利用した授業の割合	36%	48%	54%	58%	54%	75%
	5章	3	1	1	就業の実現と安定	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計画	3	1		人権の尊重と男女共同参画の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	
	基本目標2 やちよの魅力を創出し,新しい人の流れをつくる 【施策体系】 (1)誇りと愛着の醸成と定住促進 (2)誰もが訪れたいくなる観光づくり	2章	1	2	1	大学等教育機関との連携	—	—	—	—	—	—	—	—
							2	1	2	学びを通じた交流と成果の還元	—	—	—	—
2			1	3	市民の学びの環境整備	—	—	—	—	—	—	—	—	
3			1	1	文化活動の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	
4			1	1	スポーツ活動の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	
4			1	2	スポーツ環境の整備	—	—	—	—	—	—	—	—	
計画		3	4	シティプロモーション・観光の推進	計画の推進-6	地域間連携推進事業	ちばプロモーション協議会参加回数	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	1回/年	3回/年	
					計画の推進-7	観光資源活用・情報発信事業	「ココシルやちよ」のアクセス数	69,541件/年	69,945件/年	80,187件/年	99,831件/年	86,870件/年	76,495件/年	
					計画の推進-8	シティプロモーション事業	SNSによる情報発信数	584回/年	708回/年	627回/年	485回/年	480回/年	700回/年	
基本目標3 魅力あるしごとをつくり,地域経済の稼ぐ力を高める (1)中小企業を始めとした地域企業の活性化支援 (2)都市農業の進行と担い手の育成 (3)多様なライフスタイルに応じた柔軟な働き方の支援	5章	1	1	1	農業所得の向上	第5章-1	防災道の駅やちよ整備事業	実施設計の完了			未完了	未完了	未完了	完了
						1	1	2	農業を担う多様な人材の確保・育成	—	—	—	—	—
		1	2	1	農地の整備と担い手への集積	第5章-2	農業振興地域整備計画策定事業	計画の改定	未策定	未策定	未策定	未策定	改定済み	改定
						第5章-3	水田再基盤整備事業	事業費進捗率	4.6%	7.2%	9.8%	12.1%	24.6%	100%
		2	1	1	商業の振興	第5章-4	創業支援事業	年間創業支援者数	176人/年	225人/年	227人/年	158人/年	147人/年	252人/年
		2	2	1	工業の振興	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3	1	1	就業の実現と安定	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第2期総合戦略	関連する第5次総合計画前期基本計画の施策				No	具体的な取組 (第5次総合計画前期実施計画)	重要業績評価指標(KPI) (実施計画事業の指標)	基準値 R2年度	年度別実績					目標			
	柱	施策							R3年度	R4年度	R5年度	R6年度					
基本目標4 誰もが安心して暮らせる持続可能なまちをつくる 【施策体系】 (1)安全で快適に暮らせる地域づくり (2)多様な主体がつながり、生涯を通じていきいきと暮らせる環境づくり (3)地域資源を活かした魅力あるまちづくり	1章	2	1	2	地域福祉のネットワーク化	第1章-9	重層的支援体制整備事業	多機関協働の実施機関の設置					設置	設置			
					2	2	2	障害者(児)福祉サービスの充実	第1章-10	障害者等への地域における相談支援体制の充実強化事業	基幹相談センター委託業務の仕様書作成	検討	検討	検討	検討	完成	完成
								第1章-11	障害者グループホーム整備費補助事業	助成事業所数	1事業所	1事業所	1事業所	1事業所	1事業所	3事業所	
		2	2	3	社会参加の促進	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
		2	3	1	高齢者福祉サービス	第1章-12	高齢者外出支援事業	タクシー券利用人数	336人/年	364人/年	366人/年	390人/年	1,437人/年	350人/年			
					第1章-13	高齢者運転免許証自主返納支援事業	タクシー券交付人数	1,956人	2,514人	3,109人	3,585人	4,209人	2,500人				
		2	3	2	生きがい対策の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
		4	1	1	健康づくりの推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
		4	1	2	疾病対策の推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
		4	2	1	地域医療体制の充実	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
	4	2	2	救急医療体制の継続	第1章-16	公的病院等救急医療事業補助事業	救急医療体制の確保	維持	維持	維持	維持	維持	維持				
	3章	2	1	1	災害予防体制の充実	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
					2	災害応急対策の充実	第3章-1	災害用物資備蓄事業	各種備蓄品の整備率	70.9%	64.7%	70.8%	93.6%	97.6%	100%		
		2	1	3	都市防災対策の推進	第3章-2	地域排水整備事業	冠水問題の解消	未解消	未解消	未解消	未解消	未解消	解消			
					第3章-3	勝田川改修事業	勝田川の溢水対策工事延長	0m	48m	48m	178m	298m	680m				
					第3章-4	準用河川高野川改修事業	橋梁の詳細設計完了	未着手	未着手	未着手	未着手	着手	完了				
					第3章-5	急傾斜地崩壊対策事業(市)	整備による保全家屋戸数(県事業含む)	333棟	334棟	334棟	335棟	336棟	337棟				
					第3章-6	急傾斜地崩壊対策事業(県)	整備による保全家屋戸数(市事業含む)	333棟	334棟	334棟	335棟	336棟	337棟				
		2	2	1	火災予防の推進	第3章-7	予防業務事業	現地での通知書交付率	0%	28.5%	17.1%	17.2%	18.4%	50%			
		2	2	2	消防体制の充実	第3章-8	消防車両等整備事業	更新が完了した車両率	73%	73%	75%	82%	76%	100%			
		2	2	3	救急・救助体制の充実	—	—	—	—	—	—	—	—				
		2	3	1	防犯活動の推進	—	—	—	—	—	—	—	—				
		2	3	2	防犯施設の整備	第3章-9	防犯灯設置事業	防犯灯新設灯数	83灯	184灯	263灯	333灯	380灯	296灯			
					第3章-10	防犯カメラ設置費補助事業	補助金により設置した防犯カメラの台数	0台	6台	10台	18台	28台	40台				
			2	4	2	道路交通環境の整備	第3章-11	交通安全施設整備事業	道路照明灯,防護柵,区画線,反射鏡,道路標識等の交通安全施設の整備	—	—	—	—	—	整備		
						第3章-12	通学路整備事業	村上228号線の歩道整備	未整備	未整備	未整備	未整備	未整備	整備			
						第3章-13	自転車ネットワーク整備事業	自転車通行帯整備	—	0路線	1路線	2路線	1路線	4路線整備			
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
		4章	1	1	1	市街地の整備・誘導・保全	第4章-1	大和田駅北側地区まちづくり事業	整備計画素案の策定	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	策定		
	第4章-2					西八千代南部地区まちづくり事業	地区計画(原案)の策定	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	策定				
	第4章-3					八千代台駅周辺活性化推進事業	整備方針素案の策定	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	策定				
	1		1	2	地域まちづくりの推進	—	—	—	—	—	—	—	—				
	1		2	2	地域に住み続けるための住宅支援	第4章-5	マンション耐震診断費補助事業	補助件数		0件	0件	0件	0件	3件			
					第4章-6	木造住宅耐震診断費等補助事業	戸別訪問等の実施数	113棟/年	1,090棟/年	1,139棟/年	1,360棟/年	1,053棟/年	1,500棟/年				
					第4章-7	空家等対策推進事業	空家バンクの登録件数	制度なし	0件	0件	2件	0件	60件				
					第4章-8	管理不全空家等解消事業	特定空家等の解消数	0件	0件	1件	2件	0件	3件				
					第4章-9	マンション管理アドバイザー派遣事業	マンション管理認定件数					0件	1件				
					1	3	1	都市公園の整備	第4章-10	西八千代地区近隣公園建設事業	近隣公園の整備数	0か所	0か所	1か所	1か所	1か所	2か所
								第4章-11	県立八千代広域公園整備の促進	県立八千代広域公園の整備率	50%	50%	50%	50%	50%	100%	
	第4章-12		勝田市民の森用地取得事業	勝田市民の森用地取得面積	約0.2ha	約0.5ha	約0.7ha	約0.9ha	約0.3ha	約0.9ha							

第2期総合戦略	関連する第5次総合計画前期基本計画の施策					No	具体的な取組 (第5次総合計画前期実施計画)	重要業績評価指標(KPI) (実施計画事業の指標)	基準値 R2年度	年度別実績					目標
	柱	施策								R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	4章	1	3	2	緑化の推進	第4章-13	バラ苗配布事業	バラ苗配布事業の満足度	58%	55%	58%	50%		100%	
					2	1	2	鉄道輸送の充実	第4章-15	東葉高速鉄道支援事業	利子補給対象債務残高	18,786百万円	17,277百万円	15,768百万円	14,258百万円
		2	1	3	バス輸送等の充実	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		2			1	4	駅前広場の整備	第4章-16	勝田台駅南口エレベーター等設置事業	エレベーター設置	未設置	未設置	未設置	未設置	設置
		3	2	1	地球温暖化対策の推進	第4章-25	住宅用設備等脱炭素化促進事業	設備補助件数	108件/年	99件/年	121件/年	187件/年	170件/年	100件/年	
		3			2	2	生物多様性の保全	—	—	—	—	—	—	—	—
		4	1	1	ごみ減量・リサイクルの推進	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計画	2			1	コミュニティ活動の推進	計画の推進-2	地域コミュニティ推進講座開催事業	講座参加者数	10人/年	35人/年	0人/年	43人/年	25人/年	70人/年
	計画の推進-3		地域担当職員制度事業	地域の会議に出席する回数			0回/年	0回/年	0回/年	0回/年	0回/年	7回/年			
	計画の推進-4		旧八千代台東第二小学校跡地整備事業	地域組織による自立した施設運営管理			—	法人設立準備	法人設立	自立した運営管理	自立した運営管理	自立した運営管理			
	3	2		多文化共生社会の推進	計画の推進-5	多言語防災・生活情報配信事業	登録者数	308人	322人	331人	260人	248人	500人		
	4			3		公共施設等の一体的なマネジメントの推進	計画の推進-12	庁舎建設事業	実施設計の完了	未着手	未着手	未着手	契約締結	設計完了	完了
	4	4				スマート自治体の推進	計画の推進-13	行政手続のオンライン化推進事業(51手続)	51手続のオンライン化				24手続	41手続	48手続
				計画の推進-14	施設使用料等キャッシュレス決済導入事業		手続総件数に対するPayPay等利用割合					7%	10%	10%	
				計画の推進-15	統合型GIS導入事業		公開型GISの公開レイヤ数						1レイヤ	3レイヤ	
	計画の推進-16	情報システム標準化事業	標準仕様システム構築の着手	未着手	未着手	未着手	未着手	着手	着手						